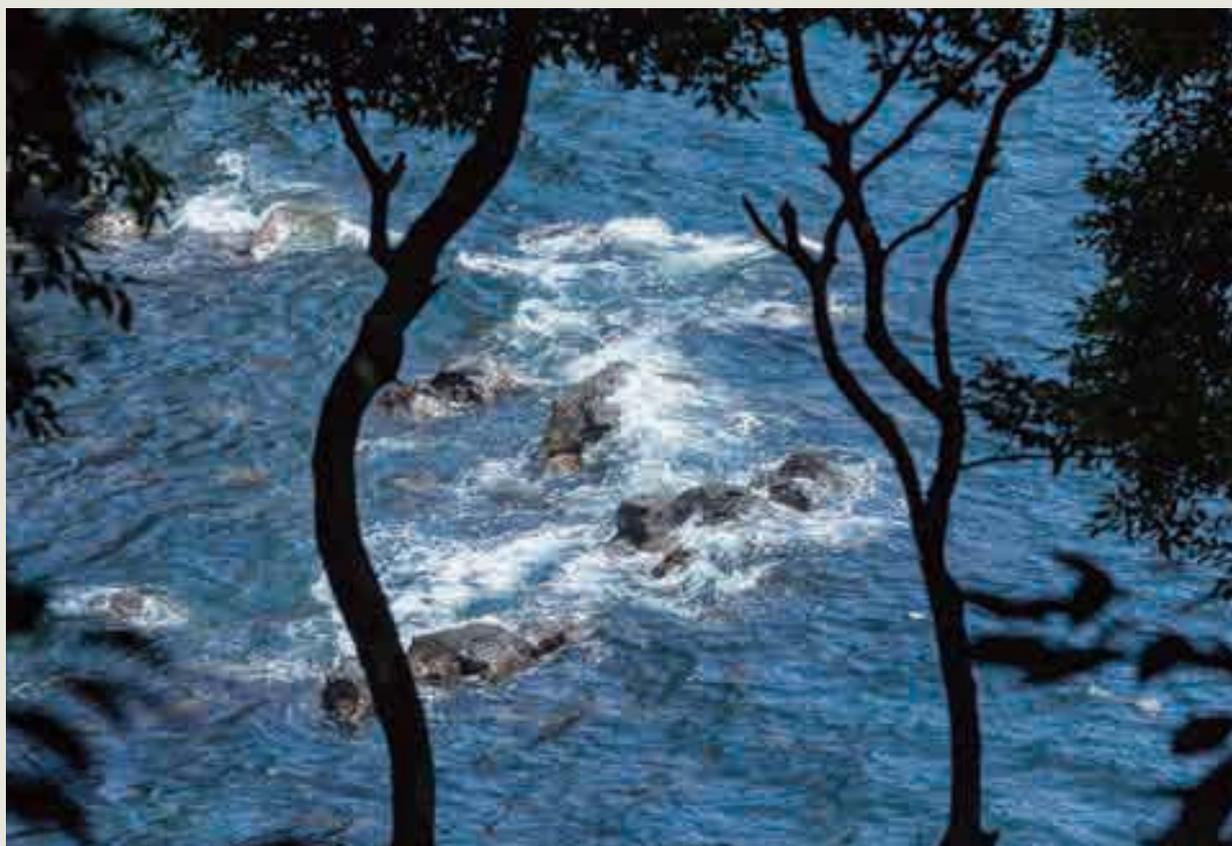


# JEMIMA会報

## CONTENTS

- 第56回(平成28年度)定時総会
- 計測展2016 OSAKA 開催概要
- 平成27年度 委員会活動成果報告会



# 計測展 2016 OSAKA

未来に、  
鼓動する。

未来のものづくり社会を支える  
計測・制御技術の総合展

## 計測展 2016 OSAKA

11/9(水)～11(金)

10:00～17:00 入場料: ¥1,000 (消費税込)

※事前登録者、招待券持参者および学生(登録の際、学生証提示)は無料

グランキューブ大阪(中之島・大阪国際会議場)

主催 | 一般社団法人 日本電気計測器工業会  
Japan Electric Measuring Instruments Manufacturers' Association

後援  
(順不同・予定)

近畿経済産業局 / 大阪府 / 大阪市 / 大阪商工会議所

来場者 **10,000人**

ものづくりに関わる  
開発・設計・生産・品質管理・営業・保守・保全部門の方々

- 薬品
- 食品
- ソフト開発
- 紙
- 金属
- 自動車
- 機械
- エネルギー
- 化学
- 流通サービス
- 電機電子
- 建設
- 繊維
- エンジニアリング
- プラント
- 情報通信

計測展 2016 OSAKA運営事務局

[株式会社ツーサム]

〒604-8436 京都市中京区西ノ京下合町20番地  
電話 075-823-2020 FAX 075-823-3659  
E-mail: mcs2016@jemima.or.jp

▼9月初旬より来場事前登録を開始いたします▼

最新情報はこちらから

<http://jemima.osaka/>

計測展



---

## 目 次

---

### 2●総会特集

第56回（平成28年度）定時総会報告  
第56回（平成28年度）関西支部定時総会報告  
平成28年度 春季経営者懇談会  
平成28年度 東西会（春）  
第142回 関西B・I研修会（総会・講演会・製品説明会及び交流会）  
平成28年度事業計画と前年度事業の概要  
理念、ビジョン、中期重点目標  
平成28年度委員会組織図

---

### 18●欧州環境規制レポート（第43回）

---

### 22●「計測展2016 OSAKA」開催概要

---

### 24●刊行物案内

---

### 26●統計（電気計測器生産統計2016年4月）

---

### 28●お知らせ

新入会員

---

### 29●委員会活動報告

委員会開催録  
「平成27年度 委員会活動成果報告会」実施報告  
第65回 戦略的基盤技術検討委員会（委員会・技術講演会及び交流会）開催報告  
NECA広報委員会との交流会実施報告  
平成28年IEC活動推進会議議長賞の受賞

---

### ●広告掲載会社

計測展2016 OSAKA ..... (表2)  
新規会員募集 ..... (表3)  
日本電気計器検定所 ..... (表4)

## 第56回（平成28年度）定時総会報告

開催日：平成28年5月27日

場 所：弘済会館

出席者：73名（委任状を含む）

小野木 聖二 会長（アズビル株式会社 代表取締役会長）が議長となり定時総会開会を宣言し、次の議案について、吉原 順二 専務理事の説明により、審議し承認されました。

第一号議案 平成27年度事業報告及び決算報告の承認

第二号議案 平成28年度入会金及び会費算定基準（案）の審議、決定

第三号議案 平成28年度事業計画（案）及び予算（案）の審議、決定

第四号議案 会員代表者変更に伴う役員選任の承認

新たに理事となられた方々は以下のとおりです。

飯泉 孝 氏（株式会社日立ハイテクソリューションズ 取締役社長）

岡部 英明 氏（三菱電機株式会社 電力・産業システム業務部長）



小野木議長、堀場副会長、海堀副会長



小野木会長

## 第56回（平成28年度）関西支部定時総会報告

第56回（平成28年度）関西支部定時総会と懇談会が、下記の日程で行われました。

開催日：平成28年4月4日（月）

場 所：ホテルグランヴィア大阪

出席者：正会員21社（委任状含む）

堀場 厚 関西支部長（株式会社堀場製作所 代表取締役会長兼社長）が議長となり、定時総会開会を宣言し、次の議案について審議し、何れも承認・決定されました。

第一号議案 平成27年度関西支部事業報告及び決算報告の承認の件

第二号議案 平成28年度関西支部事業計画案及び収支予算案の審議、決定の件

第三号議案 新運営委員及び新副支部長選任の承認の件

新たに関西支部運営委員及び副支部長に選任された、島津システムソリューションズ㈱の西口 統 委員から新役員就任の挨拶がありました。

総会終了後、同会場にて「平成28年度関西支部懇談会」が49名のご出席の下、開催されました。

堀場 関西支部長から懇談会開催挨拶の後、ご来賓を代表して経済産業省 近畿経済産業局 局長 関 総一郎様からご挨拶を賜りました。その後、乾杯のご発声が西口 統 関西副支部長（島津システムソリューションズ株式会社 代表取締役社長）からあり、途中、JEMIMA人材育成研修・計測展2016 OSAKAの紹介も含め、会員・ご来賓での懇談となり関西支部懇談会は盛況に終了しました。



堀場 厚 関西支部長 ご挨拶



近畿経済産業局 局長 関 総一郎 様 ご挨拶



西口 統 関西副支部長  
乾杯のご発声



懇談会会場風景



総会・懇談会を通じて、堀場 関西支部長からは、戦略的基盤技術検討委員会・人材育成研修の特別講演プログラム等の関西発信・オリジナルな工業会活動が益々充実して来ており、今後、関西支部21社が結束を一層強化して対応して行く事が工業会活性化に大変重要となっている。さらには、その成果として、本年11月開催の計測展2016 OSAKAにはユニークな関西らしい企画を盛り込み、成功させたい旨、力強くお話しがありました。

近畿経済産業局 局長 関 総一郎 様からは、全体の景気動向はゆるやかな基調の中にもやや残念な結果もあるが、JEMIMA関連の皆様は、今後、IoT関連分野を含め発展が期待される。また、関西支部会員企業も参加したIoT関連のイスラエルミッションのご紹介を頂いた。最後に、計測展2016 OSAKAの成功に協力し、関西活性化を進めて行きたい旨、ご挨拶を賜りました。

新たな想いで関係先諸団体と連携し、2016年度活動に取り組む事を再認識する場となりました。

ご出席、ご支援を賜りました皆様に厚くお礼申し上げます。

以上

<関西支部関連JEMIMA委員会>

- ・戦略的基盤技術検討委員会 (委員長 : 清水 哲夫 氏、(株)堀場エステック)
- ・計測展2016 OSAKA実行委員会 (委員長 : 南 真樹 氏、横河ソリューションサービス(株))

<関西支部有志懇談会>

- ・JEMIMA2世会 (代表幹事: 堀田 修二 氏、旭産業(株))
- ・関西B・I研修会 (代表幹事: 山口 真矢 氏、(株)堀場製作所)
- ・第65回懇親軟式野球大会実行委員会 (委員長 : 西方 康博 氏、(株)堀場製作所)

## 「平成28年度 春季経営者懇談会」開催報告

春季経営者懇談会が平成28年5月27日（金）の理事会終了後に、同会場の弘済会館で行われました。

小野木 聖二 会長から、開会にあたり、「これからは計測・制御技術にAI、クラウド等の新しい技術を融合した商品が開発されるだろう、工業会のさまざまな活動と相まって、お客様に喜ばれる商品が生まれ、業界が発展していくことを期待する」との挨拶がありました。

次にご来賓を代表して、経済産業省 商務情報政策統括調整官 吉本 豊 様から、政府のセキュリティ強化の取り組みと計測展2016 OSAKAへの期待を中心とするご挨拶を頂戴しました。



小野木会長 ご挨拶



経済産業省 吉本政策統括調整官 ご挨拶

新たに理事に選任された、飯泉 孝 理事から就任挨拶がありました。引き続き堀場 厚 副会長から乾杯のご発声で歓談に移り、1時間半程の懇談会は盛況のうちに終了しました。



飯泉理事 ご挨拶



堀場副会長 乾杯のご発声

## 「平成28年度 東西会（春）」開催報告

当工業会会員が東西に別れてゴルフの腕を競う恒例の東西会が、平成28年5月28日（土）鳳琳カントリー倶楽部（千葉県）で開催されました。

東西会は、会員相互の親睦を深めることを目的として毎年、春に関東で、秋に関西で開催しております。役員、会員代表者に加えて、各委員会の正副委員長も参加できる形となっており、今回も多くのメンバーでの開催となりました。

好天の下、熱戦が展開され、団体戦では平均ネット79.3対79.6の僅差で東軍が勝ち、個人戦では堀場氏（株）堀場製作所）がグロス94、ネット72.4の好成績で優勝されました。

\*小野木会長より各賞の受賞者へ賞品が手渡されました。



【優勝】 堀場氏



【準優勝】 大倉氏



【第3位】 海堀氏



集合写真

参加メンバーは以下のとおりでした。

- |                  |                    |                |             |
|------------------|--------------------|----------------|-------------|
| 1組：小野木氏(アズビル株)、  | 岩見氏(新コスエ電機株)、      | 大久保氏(株堀場エテック)、 | 吉原氏(JEMIMA) |
| 2組：堀場氏(株堀場製作所)、  | 斉藤氏(株日立マクセル)、      | 細谷氏(京都EIC株)、   | 竹口氏(アズビル株)  |
| 3組：海堀氏(横河電機株)、   | 近藤氏(エムティティ株)、      | 宮沢氏(アズビル株)     |             |
| 4組：日下氏(富士電機株)、   | 沖野氏(オリックス・レンテック株)、 | 吉澤氏(横河電機株)     |             |
| 5組：飯泉氏(株日立マクセル)、 | 大倉氏(大倉電気株)、        | 小林氏(JEMIMA監事)  |             |

(松川 記)

## 第142回 関西B・研修会（総会・講演会・製品説明会及び交流会）開催報告

開催日：平成28年5月10日（火）

場 所：ホテルグランヴィア大阪

出席者：会員23社（委任状出席を含む）

### <総 会>

山口 真矢 代表幹事（㈱堀場製作所）が議長となり、下記の議案について審議し、何れも承認・決定されました。

第一号議案：平成27年度事業報告案の承認を求める件

第二号議案：平成27年度収支決算報告案の承認を求める件

第三号議案：平成28年度幹事選出の件

総会・交流会を通じて山口 代表幹事からは、近年、関西B・I研修会は人材育成及び本日の様なグローバル関連セミナー開催等、会員企業様の企業力アップを目指した活動を強化している旨、報告がありました。また、JEMIMA内に於いて本会活動の浸透が徐々に高まって来ている事を実感するとの報告もありました。今後、関西B・I研修会は、一層活発な活動を継続推進し、会員企業様にとっての新たなビジネスチャンスキャッチアップ及び次世代人材育成の場としての機能を果たし、引き続き、関西支部工業会活動の一層の活性化に貢献をして行きたい旨、力強く表明がありました。

総会終了後、引き続き講演会、製品説明会及び交流会を開催しました。

### <講 演 会>

ご来賓として、本件講師をご紹介頂きました、経済産業省 近畿経済産業局 地域経済部 情報政策課 総括係長 砂川 嘉彦 様にご臨席賜りました。

テーマ 「アフリカでのビジネス展開へ向けた留学生制度の活用とその現状について」

講 師 神戸情報大学院大学 社会連携推進室 室長 矢野 孝一 様

同 情報技術研究科 情報システム専攻 特別チューター 高原 敏竜 様

同 ケニア共和国留学生（受入プログラム：JICA ABE-initiative）Mr. Mutembei Kariuki

日本に於けるアフリカ人留学生制度の概要と同大学の取り組み、アフリカ人留学生の現状とその気質及び留学生自身からの留学とインターンシップの経験について講演を頂きました。加えてケニア国に於ける今後のビジネス機会の紹介及び同大学からの要請等に触れ、本分野の認識と理解を深める事が出来ました。

### <製品説明会>

恒例の会員企業による製品紹介（㈱日立ハイテクソリューションズ 大久保 敏浩 様他）が実施され、会員相互の認識を深める事が出来ました。



総会



講演会



講演会（講師を囲んで）

<交 流 会>

ご来賓及び講師の皆様との交流を含め、参加会員様相互の交流を深める盛況な場となりました。



交流会 ご挨拶（山口 代表幹事）



盛況な交流会風景



以上

※関西B・I研修会

歴史：1980年設立35年以上の歴史・伝統を持つ関西支部有志懇談会の一つ

目的：幅広い営業活動の一助とするため、講演会・研究会・見学会・研修会などを実施し、次世代人材育成と会員相互の研鑽を図る

構成：関西支部会員並びに本部会員の関西拠点（支社・支店・営業所等）を主体に29社

運営：平成28年度幹事

代表幹事（正） 山口 真矢 氏（榊堀場製作所）

代表幹事（副） 永岡 義浩 氏（島津システムソリューションズ株）

会計幹事 吉村 亨二 氏（タケモトデンキ株）

# 平成28年度事業計画と前年度事業の概要

## 【平成28年度事業計画の概要】

平成28年度は、定款の変更により正会員資格が拡大される年度となる。JEMIMAビジョンで掲げた計測・制御の総合的な工業会の実現を目指し、新しい技術の動きを踏まえて、ユーザー団体を含めた関連機関との交流を活発化させ、活動の充実を図る。前年度に引き続き、中期重点目標である

- ・工業会活動の「グローバル」対応の推進
- ・「連携」強化による工業会活動の拡大
- ・会員満足のさらなる向上

の実現を中心として、平成28年度の活動を実施する。

工業会運営にあたっては、企画運営会議が理事会の諮問・各委員会事業の調整・推進機関としての役割を果たす。特にセミナー事業では推進的役割を果たすとともに、他組織との連携による工業会活動の拡大について、指導的な役割を果たす。

平成28年度の当工業会の会費は、会費制度の見直しにより一部の会員については会費が増加するものの、分野による売上の伸び悩みや会員の退会もあり、前年度とほぼ同額となる。他方で、事業収入、受託事業収入が減少するため、変動の大きな展示会事業収入を除いても、予算ベースで約6百万円の減収となる。収支均衡を目指すという前提の下、委員会予算については実績を踏まえた予算とし、活動の重点化を行うとともに、IoT (Internet of Things) / CPS (Cyber Physical System) 等の新しい動きに対応して電気計測器産業の活性化を目指す事業を開始する。

以下、会計分類に従って、事業計画の要点を示す。

### I. 実施事業等会計（公益目的事業）

1. 調査研究・広報事業
2. 標準化・規格制定事業

### II. その他会計（収益事業）

3. 展示会事業

### III. 法人会計

4. 関西支部事業
5. その他事業

## 1. 調査研究・広報事業

### (1) 調査・統計

ユーザーニーズと市場動向を反映した中期見通しの作成とスピーディな情報発信を行い、主要機種ごとの分析をプレス発表も含め外部へ情報発信する。また、グローバルな視点での市場調査について検討を進める。事業遂行にあたっては、独占禁止法へのコンプライアンスの観点で作成したガイドラインを着実に遵守する。また、統計データ収集システム改修に向けた準備を行う。

### (2) 製品安全・EMC

国内外の電気計測器及び関連製品のEMCおよび電気/光安全に係わる各種法律や関連規格の制定・改廃に関する情報を収集し、セミナーにより会員企業及び会員外企業に提供する。Web技術を用いて、会員に有用な情報の収集・開示を行う。また、IEC/TC66（計測安全）国際・国内委員会との連携強化など、国際標準化の取組を強化する。合わせて、電池工業会、欧州の工業会など内外の団体との連携強化を図る。

### (3) 国際

海外関連団体との交流・情報交換の機会を増やし、会員企業のビジネス拡大を支援するため、既にMOUを締結している諸団体（中国（CIMA）、台湾（TEEMA）、英国（GAMBICA））と展示会等を通じて交流を深めるとともに、インド、ベトナム等とのMOU締結を目指す。また、会員企業への情報提供として、海外安全対策の手引きの改訂や危機管理情報など海外事業に関するセミナーを行う。

### (4) 輸出管理

法令改正について情報共有するとともに必要に応じてJEMIMAとしての意見をパブリックコメントとして提出する。輸出関連法規などの周知と遵守の徹底を図るため、「安全保障貿易管理説明会」を実施する等により、会員の輸出管理業務の適正化・効率化に寄与する。輸出管理コンシエルジュ事業の利用拡大を図る。

### (5) 知的財産権

特許庁審査・審判部門との意見交換会を企画し、会員企業の要望を伝えるとともに知的財産権に関す

る情報収集を行う。実務研究会を開催し、会員企業の人材育成に貢献する。

#### (6) 資材

資材調達の情報としての活用を目的に、「部材市中価格調査推移一覧表」を会員各社に毎月提供する。また、他社事例の学習のための工場訪問や、情報共有やスキルアップのためのセミナーを実施する。

#### (7) 環境グリーン

EU-RoHS2指令、REACH規則、中国「電子情報製品の汚染制御管理弁法」など、世界の環境関連規制とその制定状況を継続調査し、会員企業に情報提供するとともに、JEMIMAとしての対応指針を明確にする。また、欧州当局に対して製品環境規制に関するロビー活動を行うことにより、規制・規格の制定にJEMIMAの意志を反映させる。調査結果をセミナーにより一般に提供し、JEMIMAのプレゼンスを高める。

#### (8) 校正事業推進

国立研究開発法人産業技術総合研究所及び（独）製品評価技術基盤機構の協力を得て、JCSS（計量法校正事業者登録制度）の諸問題の解決、制度の普及、需要の喚起を図るとともに、業界意見を行政へ提言する。

#### (9) エネルギー・低炭素政策

IEC/TC65国内委員会と連携して、エネルギー効率、工場とスマートグリッドとのインターフェースなどの分野において、IECにおけるJEMIMAの主導的な役割を確立するための活動を行う。また、IECのシステム委員会の動向、水素社会での計測・制御関連規制等、エネルギー・低炭素分野での内外の標準・法規制の動向について調査を行い、結果をセミナー等により共有する。

#### (10) 戦略的基盤技術検討（関西支部所管）

電気計測器の将来の基盤技術になりうる先端技術分野と研究開発テーマを探索するため、当該分野の第一人者による講演会や技術先端施設の見学会を実施する。成果をJEMIMA内外に広く共有化し、JEMIMAのプレゼンス向上に寄与する。

#### (11) 指示計器

JIS C 1102について対応国際規格の動向をふまえて改正素案を作成する。JIS C 1111のIEC60688

への整合化のための改正素案を作成する。

#### (12) 電力量計

法定計量器の国際勧告（OIML R46）を適用したJIS原案の作成を行う。また、計量関係法令改正への意見具申、関係官庁・各種団体からの要請に応じて検討・助言を行うとともに、関係団体との情報交換を行う。

#### (13) 電子測定器

国交省、経産省、次世代センサ協議会、等の省庁/団体との交流をはかり、活動の動向把握、参画、提言を行う。再生可能エネルギー、IoTなど成長が期待される分野でのビジネス創造のための調査を行う。国際標準化に関する他団体との連携を進め、JEMAとの可変駆動システム効率算定方法の国際標準化に関する協力を継続する他、再生可能エネルギー市場における標準化活動としてJIS C 1302（絶縁抵抗計）改定に取り組む。

#### (14) PA・FA計測制御

PA・FA計測制御機器の市場拡大・業界発展のために下記の3つの作業部会を設け、新技術・新市場の動向に関する情報提供、国内外の標準化に関する情報収集・対応、他団体との交流等を行う。また、雑誌「計装」のコラムなどにより活動成果の広報に務める。また、IEC/TC65国内委員会と連携を取るために、必要に応じて期限付き作業部会を設け、対応する。

- 1) 機能安全調査研究
- 2) セキュリティ調査研究
- 3) 工業用無線技術調査研究

#### (15) 温度計測

温度計や温度計測に関する国内外の情報収集を行い、国際規格や国家規格を作成・維持する。JIS C 1604（測温抵抗体）、JIS C 1602（熱電対）の改正に伴うJEMISの見直しを行う。JCSSについて（独）製品評価技術基盤機構の委員会分科会に委員を派遣し、意見を提出する。計測展2016OSAKAに出展し、温度のJCSSやJEMISについてのPRを行う。

#### (16) 防爆計測

国内検定機関および海外認証機関、関係省庁と連携し、防爆という観点から安全に使用できる製品を供給する。Ex2015技術指針の運用について調

査し、意見・要望を取りまとめて関係機関に具申する。関連団体の委員会に委員を派遣し、IECEx等について情報収集を行う。

#### (17) 環境計測

平成27年度に刊行した「環境計測器ガイドブック」の英文版を2年計画で作成する。環境計測関連JISの動向を見守り、国際規格との整合性を確認し、提言等を行う。東南アジア諸国の環境問題と法規制調査の一環としてベトナムについて調査を行う。

#### (18) 放射線計測

放射線測定技術や法令解釈等の情報について技術解説や手引書を作成・改定し、放射線計測に関する有用な情報を、会員企業のみならず一般にも公開する。法令改正時に業界としての意見を取りまとめ発信する。

#### (19) 広報

JEMIMAホームページ・会報・メルマガを有機的に活用し、効果的な広報活動を行うとともに、計測展実行委員会等の他委員会とも連携し、積極的な情報発信に努める。平成28年度は、英文サイトの充実、会報の見直しに力を入れる。

#### (20) 新規事業

IoT/CPSなどの最近の動きを踏まえて、ユーザー、関連企業との協力の下に、これからの計測器産業のあり方についての調査・研究を行い、成果を計測展等の場で公開し、計測器産業の重要性をPRする。

## 2. 標準化・規格制定事業

### (1) 標準化

経済産業省からの委託により、IEC/TC45（原子力計測）、IEC/TC65（工業用プロセス計測制御）、ISO/TC30（管路における流量測定）の国際規格審議機関の日本国内事務局機能を果たす。今年度も国際標準化活動を支援し、日本からの新規規格提案をはじめ、IEC国際規格審議において日本の意見を規格に反映する努力を続ける。国際会議へのエキスパート派遣、国際会議の日本での開催等により日本のプレゼンス向上にも努める。

### (2) 受託事業

一般財団法人日本規格協会のJIS原案作成事業として、下記原案作成を行う。

- ・電気・電子・プログラマブル電子安全関連系の機能安全
- ・受動形線量計測装置、据置形エリアモニタ、WBGT指数計
- ・電力量計、無効電力量計
- ・計測、制御及び試験室用の電気装置－電磁両立性要求事項

## 3. 展示会事業

計測展 OSAKA 実行委員会では、計測展 2014 OSAKA の成功を基礎として、セミナーの充実等により、出展者、来場者双方にとって満足度の向上を目指した計測展 2016 OSAKA を開催する。計測展 TOKYO 実行委員会では、計測展 2015 TOKYO の成功を受けて、引き続いてシステムコントロールフェアとの協力のもと、計測展 2017 TOKYO を企画する。

## 4. 関西支部事業

関西地区での委員会活動を充実させ、関係団体との積極的な連携活動を行う。電子会議を利用して、委員会活動等への遠隔参加を可能とし、会員の便宜を図る。さらに、計測展 2016 OSAKA 実行委員会に参画し、出展者・来場者の満足度の向上並びに JEMIMA のプレゼンス向上を目指す展示会の成功に寄与する。

## 5. その他事業

電気計測器について、生産性向上投資促進税制の証明書発行を行う。

## 【平成27年度事業の概要】

平成27年度は、新しいJEMIMAビジョンとこれに基づく中期重点目標を実現するための2年度として、中期重点目標である

- ・工業会活動の「グローバル」対応の推進
- ・「連携」強化による工業会活動の拡大
- ・会員満足のさらなる向上

の実現を中心として、活動を実施した。

ビジョンの一つである「計測・制御の総合的な工業会」となることを目指して、正会員の資格を拡大するため定款の変更を決定し、新たな会費算定基準を定めた。また、正副会長が中心となり会員、非会員の経営層との面談等を通じて、新しい活動のあり方について検討を進めた。

工業会活動の「グローバル」対応の推進では、計測展2015TOKYOに合わせてFieldComm Groupの国際会議を誘致し、国際化を図った。中国CIMAとの間で統計に関する情報交換を行うなど、アジアの関連工業会との連携を深めた。国際標準化については、IEC/TC65などJEMIMAが国内委員会を担当するTCの活動はもとより、IEC/TC66（計測安全）などのJEMIMAが国内委員会事務局を務めていないTCについても、積極的な活動を行った。

「連携」強化による工業会活動の拡大では、計測展2015TOKYOをシステムコントロールフェア（SCF）と同時期・同会場で開催し、さらにロボット展との協力も進めた。EU規制に関するCategory8&9関連工業会連絡会などの場で、関連工業会との協力を継続した。

会員満足のさらなる向上のために、人材研修セミナーについて、回数を7回から8回に増やし、関西地区でも2回開催した。輸出管理、水銀条約の国内担保法などの環境規制、JCSS制度、スマートメータ、防爆等の分野で、関係する政府機関に対する意見具申により、業界の意見を政策に反映させるよう努めた。各種調査の結果はセミナー等により会員に提供した。

### 各委員会での主な活動

以下、会計分類に従って、委員会活動成果の要点を示す。

## I. 実施事業等会計（公益目的事業）

1. 調査研究・広報事業
    - 1-1 調査研究事業
    - 1-2 広報事業
  2. 標準化・規格制定事業
- ## II. その他会計（収益事業）
3. 展示会事業

### 1. 調査研究・広報事業

#### 1-1 調査研究事業

##### (1) 企画運営会議活動

##### 1) 企画運営会議

JEMIMAの重点活動を推進して行くために、理事会の諮問機関及び各委員会事業の調整役としての機能を果たした。四半期毎に委員長連絡会議を開催し、中期重点目標の浸透と委員会相互の情報共有を図った。

「会員資格と会費算定基準の見直し」について具体案を検討し、11月の理事会に諮って決定された。また正副会長とともに会員7社、非会員4社、計11社を対象に工業会の今後についてヒアリングを実施し、検討内容をまとめ理事会で報告した。

会員満足以直結する事業として好評を博している人材研修セミナーは、回数を7回から8回に増やし、関西地区でも2回開催した。

11月以降は、平成28年度事業計画及び予算の策定指針に基づき、各委員会の事業計画・予算を精査して、全体事業計画と収支予算案をまとめて理事会に提案した。

##### (2) 機能別委員会活動

##### 1) 調査・統計委員会

ユーザーニーズと市場動向を反映した中期見通しの作成とスピーディな情報発信を行い、主要機種ごとの分析をプレス発表も含め外部へ情報発信した。グローバル統計データの集計も継続して実施し、会員企業への有意なデータ提供ができた。システム改修については予算の確保が課題となっている。

##### 2) 製品安全・EMC委員会

国内外の電気計測器及び関連製品のEMC及び電気/光安全に係わる各種法律や関連規格の制定・改廃に関する情報を収集し、セミナー、メールマガジン等によって会員企業及び会員外企業に提供した。また、Web技術を用いて会員に有益な情報の収集・整理を行った。他工業会との情報共有により、欧州新指令、リチウム電池の輸送規則などについて、

最新の情報を得ることができた。IEC/TC66（計測安全）国際会議に延べ4名のエキスパートを派遣し、当方のコメントは各国から評価された。

### 3) 国際委員会

海外関連団体との交流・情報交換する機会を増やし、会員企業のビジネス拡大を支援するために、アジア関連団体（中国（CIMA）、台湾（TEEMA））との交流を継続し、CIMAとの間で統計等に関する情報交換を実施し、TEEMAには計測展2016OSAKAへの出展を勧誘した。

会員企業にとって関心あるテーマとして、ミャンマー及び危機管理に関するセミナーを開催した。海外安全対策の手引きをアップデートし、会員に公開した。

### 4) 輸出管理委員会

法令改正のパブリックコメントについて情報共有と検討を行い、JEMIMAとして4件の意見を提出し、うち3件が採用された。「安全保障貿易管理説明会」の継続実施、内部監査と教育訓練に関する情報交換等により、会員の輸出管理業務の適正化・効率化に寄与した。ハンドキャリー手続マニュアル改訂作業を完了した。

### 5) 知的財産権委員会

特許庁審査・審判部門との意見交換会を企画し、会員企業の要望を伝えるとともに知的財産権に関する情報収集を行った。職務発明制度改正に関する講演会を実施した。また、実務担当者の研究会を開催し、研究テーマ「子会社の知財管理」について発表を行った。会員企業内での海外知財トラブル調査を行い、結果をまとめた。

### 6) 資材委員会

資材調達の情報としての活用を目的に、「部材市中価格調査推移一覧表」を会員各社に毎月提供した。また、工場見学3カ所と「今求められる購買改革」と題するセミナーを実施した。各社の取組の発表により課題の共有等を行った。

### 7) 環境グリーン委員会

世界の環境関連規制とその制定状況を欧州訪問等により継続調査し、RoHS2指令を中心に欧州委員会への働きかけ等の対応を行った。EU-REACHに関する調査・検討を継続した。Category8&9関連工業会連絡会により、他工業会との情報交換を行っ

た。調査結果をセミナー等により内外に発信した。

経済産業省からの依頼で、水俣条約国内法制定に関する資料作りを行った。

### 8) 校正事業推進委員会

国立研究開発法人産業技術総合研究所及び（独）製品評価技術基盤機構の協力を得て、計測展でのセミナー等によりJCSSの普及、需要の喚起を図るとともに、業界意見を行政へ提言した。

### 9) エネルギー・低炭素政策委員会

IEC/TC65/JWG14（産業オートメーションのエネルギー効率）、ACEE（エネルギー効率に関する諮問グループ）への参画を通じて、IECにおけるエネルギー効率関係の標準化進捗状況について情報収集し、委員会内で共有した。

IPCC第5次評価報告、省エネ法、COP21、水素社会等の内外の法規制や施策の動向を調査した。IEC/TC65/WG17（スマートグリッドと工場のインターフェース）においてIEC TS62872を発行し、国際標準（IS）化に向けた具体的な検討を開始した。

### 10) 戦略的基盤技術検討委員会

将来の工業会の基盤技術になりうる先端技術分野と研究開発テーマに関して、その分野の第一人者による講演会を6回実施した。

東京地区会員対応のインターネット講演会を3回及び計測展対応の講演会を1回それぞれ実施し、活動を通じてJEMIMAプレゼンス向上へ寄与した。

情報通信研究機構の未来ICT研究所の見学会を実施した。

## (3) 機種別委員会活動

### 1) 指示計器委員会

対応国際規格（IEC60051、IEC60688）の内容を確認しながら関連するJIS規格の改正に向けた作業を行った。電子式指示計器の規格化に向けた作業を行った。JISマーク表示認証において適用される改正JIS Q 9001の経過措置について確認した。

### 2) 電力量計委員会

法定計量器の国際勧告（OIML）に整合したJIS規格制定に向け、JIS原案作成委員会、分科会に参画し、意見を具申した。国際規格IEC/TC13国内委員会に参加し、意見を具申した。

電気計器技術課題等研究会WG2に参画し、変成器月計器の有効期間延伸に関して意見を具申した。

日本電気計器検定所（JEMIC）、電気事業連合会、計器工業協議会等の関連団体と情報交換を実施した。

### 3) 電子測定器委員会

会員の新市場開拓の参考とするため、経済産業省との意見交換、計測展TOKYOでの委員会セミナー、委員会企業向け見学会（2回）を行った。マーケティングセミナー、技術交流セミナーを実施し、会員企業従業員のスキル向上を図った。

一般社団法人日本電機工業会（JEMA）と協力してインバータモータ測定規格WGへの参画、JIS C1302（絶縁抵抗計）改訂委員会への参画など、標準化活動に貢献した。

### 4) PA・FA計測制御委員会

PA・FA計測制御機器の市場拡大・業界発展のために主に下記分野での新技術・新市場の動向調査・対応を行った。国際標準IEC/TC65の動向について、IEC/TC65国内委員会と情報共有を行った。

#### ①機能安全調査研究

JIS C 0508-7 原案作成委員会でJIS原稿の作成を行った。計測展2015委員会セミナー、安全計装ワークショップ等により広報した。経産省と保安スマート化活動で機能安全の角度から意見交換を行った。

#### ②セキュリティ調査研究

制御システムセキュリティ関連団体合同委員会等の場において、情報共有・意見発信を行った。制御システムシンポジウム、計測展2015委員会セミナー等により広報を行った。

#### ③工業用無線技術調査研究

外部講師による無線技術セミナーを3回実施した。計測展2015委員会セミナー等により電波伝搬調査等の広報を行った。

### 5) 温度計測委員会

JIS（測温抵抗体、熱電対）の改正に伴う、JEMIS 034「熱電対及び測温抵抗体による温度測定方法」の改正作業を進め、まず校正部分についてJEMIS 034-3-2016を発行した。表面温度計のJCSS化に必要なJEMIS 043「接触式表面温度計の性能試験方法」、JIS C 1602熱電対改正に伴い、内容を補助するJEMIS 044「標準熱電対の作成方法」を発行した。

### 6) 防爆計測委員会

国内新規技術指針の調査を通じ、検定上の変更点をいち早く把握、理解することができた。産業安全技術協会との意見交換会を実施し、工業会の意見・要望を伝えた。また、第31（防爆電気機器）小委員会、IECEXシステム国内審議委員会へ委員を派遣することにより、情報を収集し、工業会の意見・要望を伝えた。

### 7) 環境計測委員会

環境計測ガイドブック（第7版）を発刊し、英文版ガイドブックの発刊に向けた検討を行った。環境計測関連JISの見直し、モニタリングを行い、水銀自動計測器、溶存酸素計のJIS原案を作成するとともにWBGT指数計JIS原案作成を開始した。

### 8) 放射線計測委員会

JEMIMAウェブサイトの放射線計測ガイドの改訂作業を大幅に進めた。日本アイソトープ協会（JRIA）との情報交換を複数回実施し、有用な情報を得た。国内標準JIS及び国際標準IEC/TC45の動向について、委員を派遣し調査を行った。

## 1-2 広報事業

### 1) 広報委員会

JEMIMA事業活動に関する情報発信を強化するため、日本語サイトの内容を随時更新するとともに、英文サイトの追加コンテンツを策定した。会報の一部カラー化を実現し、メルマガを毎週発行し、プレスリリースを21件実施した。コーポレート・アイデンティティ（CI）マニュアルの運用範囲を全委員会に拡大した。広報セミナーを関西地区で初めて開催した。

## 2. 標準化・規格制定事業

### 1) IEC/TC45国内委員会

定型業務の審議文書の回付と投票手続、エキスパート登録、作業の他、韓国・慶州会議を通して日本の意見を国際規格に反映することができた。

### 2) IEC/TC65国内委員会

68回のWG国内委員会を開催し、40回の国際会議（国内開催4回含む）へのべ97名（国内開催28名含む）の委員派遣を行うことにより、国際標準化活動の推進に貢献した。

IEC/TC65の関係委員会（JEMIMA、SICE、NECA）へ参画し、情報の共有化・情報交換を行

い、国際規格の国内規格への採用に関する関連団体への提言を行った。

### 3) ISO/TC30国内委員会

国内委員会を1回開催、国内委員会に1回参加し、投票案件4件を処理した。ISO/TC30/SC5/WG5（電磁流量計）ロンドン会議に参加した。

## 3. 展示会事業

### 1) 計測展TOKYO実行委員会

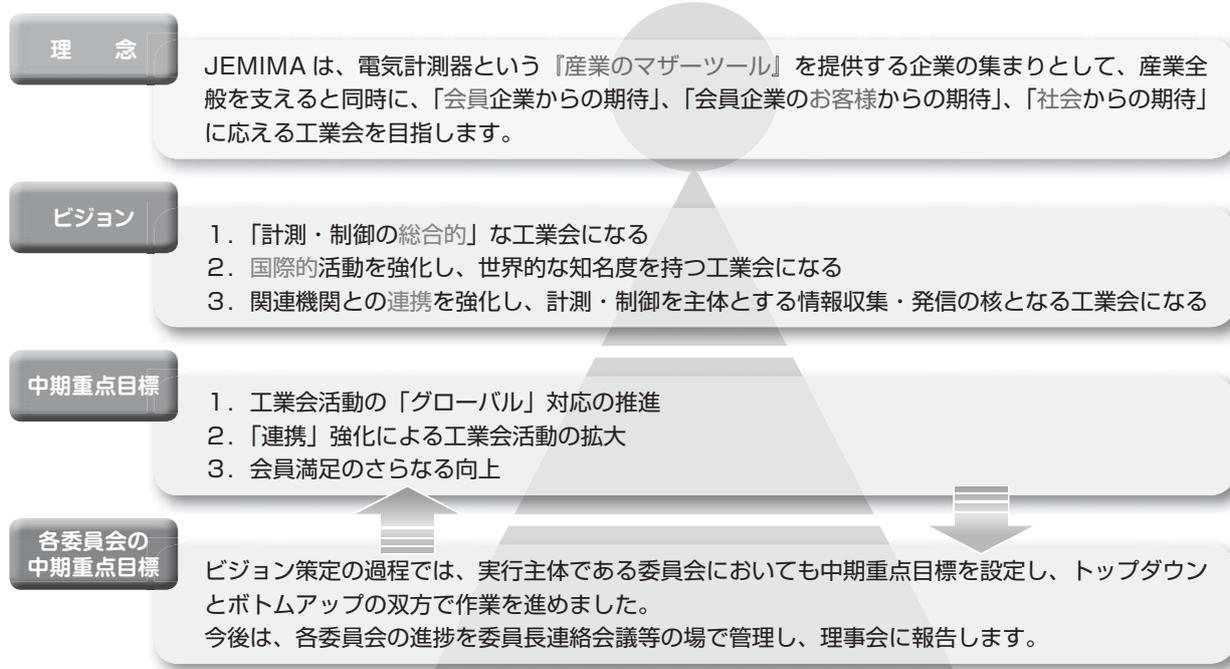
システムコントロールフェア（SCF）と同時期・同会場で開催することで、前回比で出展者数が48%増、出展小間数が26%増となり、来場者も36%増となった。IoT、CPSなどの技術的な潮流に乗り「第四次産業革命」をテーマとしたメッセージ発信を行った。大使館説明会の開催、FieldCommグループの招聘により国際化を進め、大学からの技術発表などの企画も充実させた。

### 2) 計測展OSAKA実行委員会

「未来のものづくり社会を支える計測・制御技術の総合展」という新しいメッセージを採用し、前回に引き続いて総来場数1万人規模での開催を目標に、準備を進めた。未来のものづくり社会において解決すべき5つの課題を取り上げ、JEMIMA単独の関西での開催という特徴を生かした企画を立案し、テーマに沿った講師選定や国際化のあり方を検討した。

## 理念、ビジョン、中期重点目標

JEMIMA は、あるべき姿として以下の理念を掲げ、魅力ある工業会を目指してまいります。そのビジョンを達成するため中期重点目標を設定し、「7つの事業」と「3つの基盤」を軸とした活動を通じて、期待に応える工業会へと変革を図ります。



### 【7つの事業】

グローバルな競争力強化のため会員企業をサポートする事業

- 国内外規制動向調査事業
- 国際標準化推進事業
- 統計事業

新しい技術開発やビジネスの創出を目指す事業

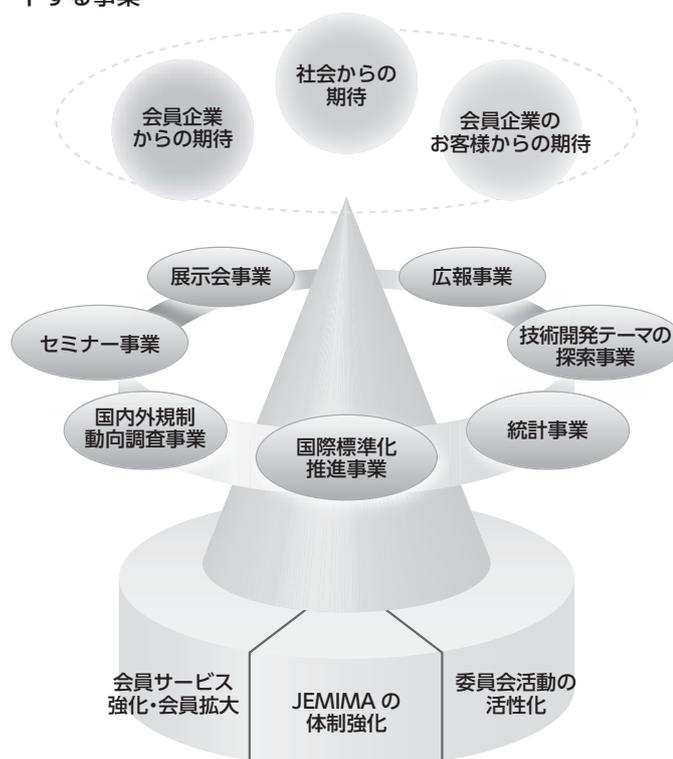
- 技術開発テーマの探索事業

JEMIMA のプレゼンス向上を図る事業

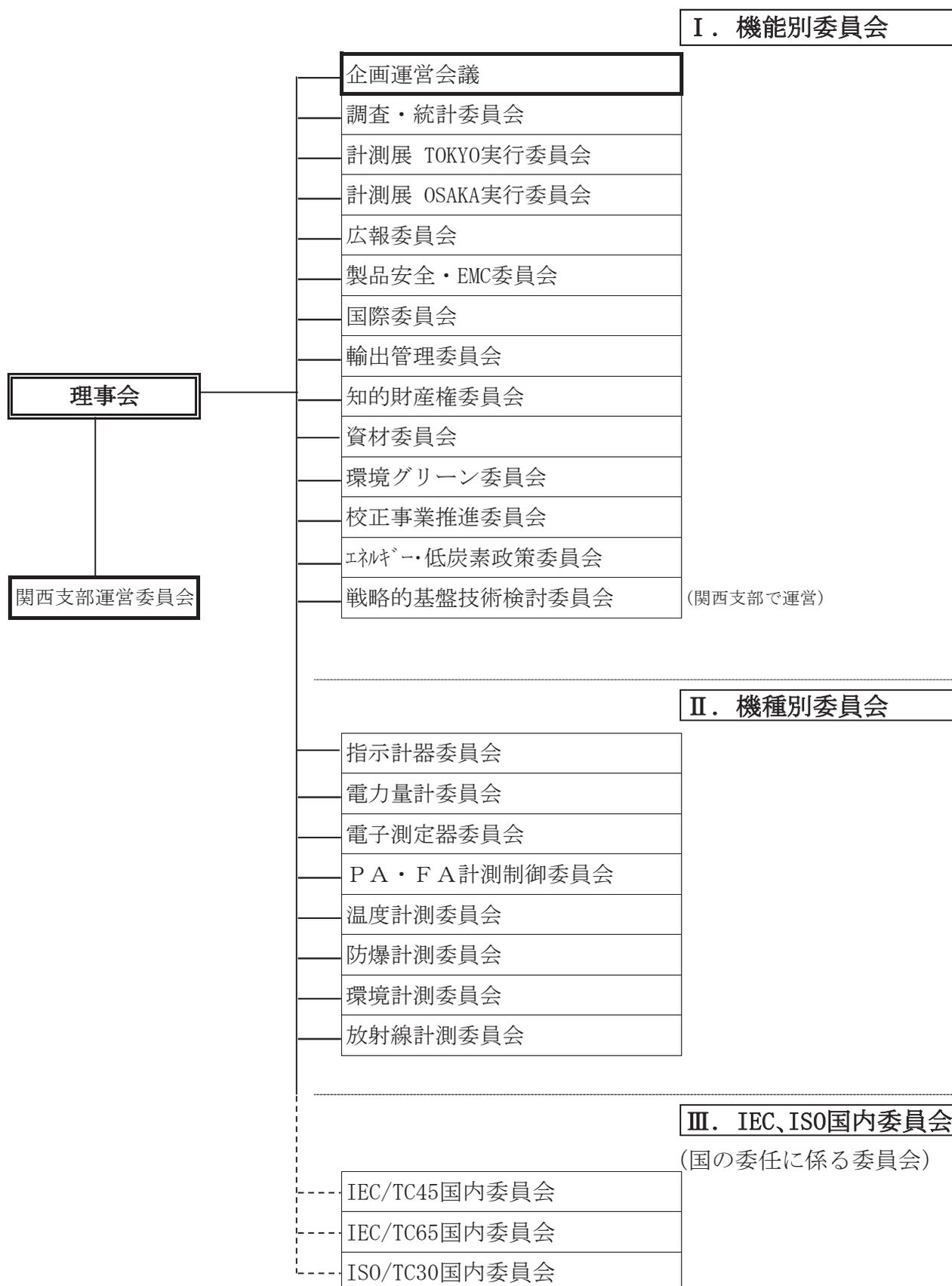
- 広報事業
- 展示会事業
- セミナー事業

### 【3つの基盤】

- JEMIMA の体制強化
- 委員会活動の活性化
- 会員サービス強化・会員拡大



# 一般社団法人日本電気計測器工業会 平成28年度委員会組織図

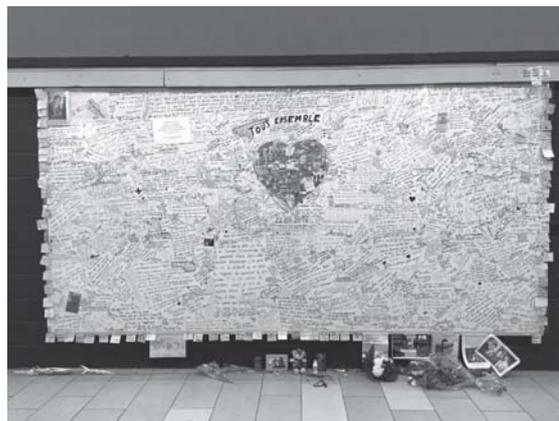




## 欧州環境規制レポート（第43回）

環境グリーン委員会  
佐々木晋哉（ブラッセル駐在）

3月22日、ベルギーの首都・ブリュッセルの空港および地下鉄マルバーク駅にて連続爆破テロが発生しました。地下鉄マルバーク駅は、JBCE（在欧日系ビジネス協議会）の事務所から50mの距離にある最寄駅で、私は偶然にも電車に乗り合わせていませんでしたが、事件の日は衝撃を受けました。建物が損壊した空港および地下鉄駅の修復は完了し、駅には被害にあった方への追悼と復興への祈りをこめた寄せ書きのボード（右写真）が今も設置されています。街は以前と変わらぬ雰囲気に戻りつつあり、被害にあわれた方の一日も早い回復を祈っております。



### <欧州のトピックス>

さて、欧州の気になる話題については前回に引き続き、英国のEU離脱（BREXIT）から述べたい。2016年6月23日に英国においてEU離脱・残留の是非を問う国民投票を実施、即日開票の結果、離脱52%、残留48%と英国は離脱を選びました。国民投票の実施が決まってから、残留派・離脱派が様々なキャンペーンを実施し、噂も飛び交ったが、まさか離脱するとの結論に達すると思わずに離脱に投票した人もおり、投票のやり直しを求める声が上がっている。投票結果を見ると、高年齢の方ほど離脱に賛成、年齢が若くなるほど残留希望が多くなっていた。その選択が正しいかどうかはさておき、英国のEU離脱の影響は大きく、投資、貿易、為替、渡航、産業、など広範囲に及ぶ。環境政策、環境規制においても例外ではなく、英国がEUでなくなれば、REACH規制の唯一の代理人（Only Representative）、CEマーキングの代理人（Authorized Representative）が英国籍の場合、どうになってしまうのだろうか、と。現時点でこの答えは誰も持っていない。

ここで注目すべきは、英国がいつ、どのような形でEUを脱退するかである。離脱の交渉期間は2年間とされているが、離脱後のEUと英国の関係については、いくつかのシナリオがあり、現時点では全く予想ができない。日本、そして産業界にとって比較的影響が小さいのは、ノルウェー、アイスランド、リヒテンシュタインと同じEEAに英国が加わることであるが、受け入れられるかどうかは定かでない。いずれにしても、英国が離脱をするまで、混乱は続きそうである。

次にEUの一般データ保護規則General Data Protection Regulation（GDPR）について述べるべきだろう。GDPRは個人データを処理し、個人データをEEAから第三国に移転するために満たされるべき法的要件を規定している。対象としている個人データは広く、氏名、生年月日ももちろん、Eメールアドレス、内線番号なども含まれると解釈すべきである。GDPRは2016年4月14日に欧州議会で採択され、官報が発行されてから20日目に発効し、発効日から2年後より適用される。GDPRはEUデータ保護指令95/46/ECをEUとしての規則にしたもので、「データ保護の範囲拡大」「個人の権利拡大」「制裁と執行の増大」などが主な変更点である。中でも懸念すべきは、企業に対して多くの義務を課し、義務違反の場合に厳しい制裁金を課することが想定されていることである。罰金は最大でグローバル売上の4%であり、環境規制と同じく、経営リスクと捉えて、対応を検討すべきである。

話は変わり、2016年1月から2017年6月末までのトリオプログラム（EU議長国）について以下に示す。



## EU 議長国オランダ 2016年前半



---

- オランダは2004年に継ぎ12回目の議長国
- 2016年後半スロヴァキア、2017年前半マルタ
- 4つの優先領域
  - 移民・難民と国際的安全保障
  - イノベーションと雇用創出
  - 健全財政と安定したユーロ圏
  - 先進的な気候・エネルギー政策



All Rights Reserved. Copyright © Japan Electric Measuring Instruments Manufacturers' Association

やはり重要な鍵を握るのは移民・難民についての対応で、前述のBREXITの最大の原因とも言われている。この問題の影に隠れている感がある雇用創出についても大きな課題である。循環経済（Circular Economy）による雇用拡大、そして2015年末にパリで開催されたCOP21への取り組みとして期待されている。ちなみに、2017年後半の議長国は英国で、最後のお勤めとなるのであろうか。

さて、欧州環境規制については前回の第42回レポート以降の動きをレポートさせていただきます。

### 1. 循環経済（Circular Economy）

今までも報告している、Circular Economyに関するパッケージ「Closing the loop - An EU action plan for the Circular Economy」については、2016年上期、期待していたほどの進展が無い。リサイクルプラスチックの基準作成、希少材料の扱いなどについて動き始めたという話はなく、もう少しゆっくり、慎重に進んでいくものだと理解した。そして上期の議長国オランダの任期がこのまま終わるのではと思われた6月20日、欧州委員会が2015年12月に提案した「Closing the loop - An EU action plan for the Circular Economy」が欧州理事会にて採択された。アクションプランが正式に採択され、刺激しないように様子を見ていた英国国民投票の結果が出た今、2016年下期に具体的な動きが始まると思われる。

### 2. RoHS改正指令（呼称RoHS II）

#### 2.1 2016年の注目ポイント

①RoHS追加禁止物質の見直し、②適用除外用途（共通、カテゴリ8&9専用）、③対象製品の見直し、について現在の状況を報告する。

#### 2.2 追加禁止物質の見直し

スウェーデンが加盟国提案として追加禁止物質に提案しようとしている、MCCP（中鎖型塩素化パラフィン）について、パブリックコンサルテーションが実施された。その結果を踏まえて、新たな追加禁止物質として2016年中に提案するのではないかと予想される。

### 2.3 適用除外用途

適用除外用途の審査は、リンク（<http://rohs.exemptions.oeko.info/index.php?id=127>）でパブリックコンサルテーションとして公開されている。ホームページにて登録すれば、情報更新時に自動メールを受信することもでき、定期的にモニタリングしておくことをお勧めする。

2015年6月19日にパブリックコンサルテーションが終了したPack7（除外9b, 13a, 13b）の適用除外延長申請については、コンサルタントのレポートが2016年2月2日にホームページで公開され、欧州委員会による欧州議会への提案待ちの状態である。

同時期にパブリックコンサルテーションが終了したPack8の適用除外新規申請、2015年10月16日にパブリックコンサルテーションが終了したPack9の適用除外延長申請については、コンサルタントの評価レポート待ちの状態である。

一方、昨年、欧州委員会の除外を認めるべきという提案を欧州議会が却下し、再レビューとなっていた注目のPack10（除外39）のコンサルタントのレポートが公表された。レポートは、適用除外を認めるべきとの内容であり、これを欧州委員会がどのように判断するのであろうか。一度、却下となった欧州議会へリベンジを果たせるのであろうか。どのような結果になろうとも、再審査という前例が今後の適用除外申請に与える影響は大きい。

前回報告した、改正RoHSの対象製品見直しに関するガイドラインについては、パブリックコンサルテーションの予定はなく、欧州委員会が粛々と法案策定の準備をしている段階である。2016年夏ごろには法案提出される予定である。

欧州委員会審査中の適用除外用途（Pack10）



**Table E. 1: Overview of the Exemption Requests, Associated Recommendations and Expiry Dates**

| Ex. Re. No. | Wording:   |           | Applicant                   | Recommendation: Proposed Exemption Wording Formulation  | Proposed Duration                              |
|-------------|--|-----------|-----------------------------|---|--|
|             | Main Entry   | Sub-Entry |                             |   |  |
| 2013-2      | Cadmium in colour converting II-VI LEDs (< 10 µg Cd per mm <sup>2</sup> of light-emitting area) for use in solid state illumination or display systems (Request for renewal of exemption 39 of Annex III of Directive 2011/65/EU); |           | QD Vision, Inc.             | Cadmium selenide in downshifting cadmium based semiconductor nanocrystal quantum dots for use in display lighting applications (< 0.2 µg Cd per mm <sup>2</sup> of display screen area) | An exemption should be granted for three years |
| 2013-5      | Cadmium in LCD Quantum Dot Light Control Films and Components  |           | 3M Optical Systems Division |   |  |

[http://rohs.exemptions.oeko.info/fileadmin/user\\_upload/reports/20160602\\_Final\\_Report\\_RoHS\\_Pack\\_10\\_Cd\\_QDs.pdf](http://rohs.exemptions.oeko.info/fileadmin/user_upload/reports/20160602_Final_Report_RoHS_Pack_10_Cd_QDs.pdf)

All Rights Reserved. Copyright © Japan Electric Measuring Instruments Manufacturers' Association

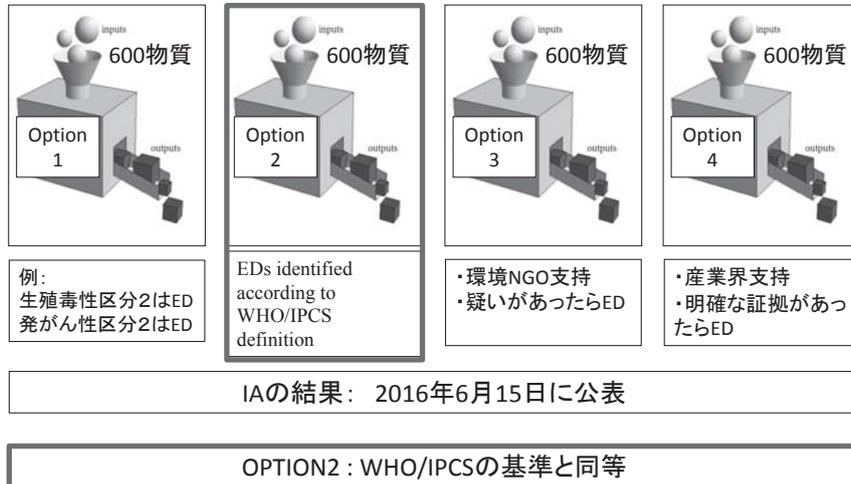
### 3. 内分泌攪乱物質（Endocrine Disrupter）

2016年6月15日、欧州委員会は内分泌攪乱物質の定義に関するImpact Assessment（IA）の結果を公表した（[http://ec.europa.eu/health/endocrine\\_disruptors/policy/index\\_en.htm](http://ec.europa.eu/health/endocrine_disruptors/policy/index_en.htm)）。事前に漏れ聞こえた予想通り、内分泌攪乱物質の定義はWHO/IPCSの基準と同等のものとなった。産業界にとっては、最も簡単であったOption4ではないが、許容可能な判断であると考えている。



## 内分泌攪乱物質(ED: ENDOCRINE DISRUPTOR)

- Impact Assessment (IA)実施
- IAの一環として、EDを定義するクライテリアを4種類作成  
→どのクライテリアが相応しいか、試しに約600物質を入力して評価



3

#### 4. その他

欧州殺生物性製品規則（BPR）について、①活性物質（有効成分）は承認（Approval）、②殺生物性製品（殺虫剤、保存剤等）は認可（Authorization）が必要である。③Treated Articleそのものは申請不要であるが、承認された活性物質を使う義務がある。もし、使用している活性物質が未承認であれば、登録を急ぐ必要がある。

RoHSの新たな禁止物質となるフタル酸エステル（DEHP, DBP, DIBP, and BBP）のREACHの制限拡大が2016年4月1日に提案されている。RoHS指令の対象となる電気電子機器・電気計測機器に関して懸念点を挙げると次の3点である。

- ① RoHS指令対象のArticleもREACHの制限対象に含まれている
- ② RoHSの施行日よりREACHの制限開始日が早い可能性がある
- ③ RoHSは4種それぞれに対して0.1%となっているが、REACHは4種個別または合算で0.1%の閾値となっている。

このREACH制限拡大提案についてのパブリックコンサルテーションが実施されており、上述の懸念点については意見提出することが重要である。

# 「計測展2016 OSAKA」開催概要

## 【事前来場登録は、2016年9月初旬を予定】

<http://www.jemima.osaka/>

<詳しくはwebをチェック!!>

### 1. 開催概要

名 称：計測展2016 OSAKA

テ ー マ：未来のものづくり社会を支える計測・制御技術の総合展  
～未来に、鼓動する。～

会 期：2016年11月9日（水）～11日（金）3日間

開催時間：10:00～17:00

会 場：グランキューブ大阪（中之島・大阪国際会議場）

主 催：一般社団法人日本電気計測器工業会（JEMIMA）

後 援：近畿経済産業局、大阪府、大阪市、大阪商工会議所（申請中）

協 賛：関係団体、関係学会等（申請中）

入 場 料：1,000円（消費税込）\*招待状持参加者及びWebサイト事前登録者は無料

来場目標：10,000名（総来場者9,740名、来場登録数6,182名：2014年実績）

### 2. 出展規模（別紙：出展企業・団体一覧参照）：6月17日現在

展示会出展：44社・団体 9委員会 127小間

テクニカルセミナー参加：33テーマ

### 3. 併催事業の予定（詳細は確定次第webサイトで順次公開）

カンファレンスでは5つの訴求ドメインを設定し、産官学、海外から講師を招聘。

会場内にステージ「JEMIMAステージ（仮）」を設け、計測展の見どころを紹介。

- 訴求ドメイン①：プロダクト・ライフサイクルマネジメント ～IoTで変わる産業構造～
- 訴求ドメイン②：自動化技術 ～製造現場の人材不足を補う～
- 訴求ドメイン③：サイバーセキュリティと安全 ～複雑化する設備・設備をどう守るか～
- 訴求ドメイン④：企業・組織の連携による新たな生産 ～マスカスタマイゼーション～
- 訴求ドメイン⑤：IoT時代の測定器 ～データの信頼性確保～



前回（2014年）会場風景

| 出展者名 |                                      |    |                             |
|------|--------------------------------------|----|-----------------------------|
| 1    | ISA100 Wireless Compliance Institute | 29 | 株式会社ピーアンドエフ                 |
| 2    | アズビル株式会社                             | 30 | 日置電機株式会社                    |
| 3    | アンリツ株式会社                             | 31 | 株式会社日立ハイテクソリューションズ          |
| 4    | 株式会社エヌエフ回路設計ブロック                     | 32 | フエニックス・コンタクト株式会社            |
| 5    | 株式会社エネゲート                            | 33 | 富士工業株式会社                    |
| 6    | エムティティ株式会社                           | 34 | 富士電機株式会社                    |
| 7    | 株式会社岡崎製作所                            | 35 | フレキシム                       |
| 8    | 京都EIC株式会社                            | 36 | 株式会社堀場製作所(株式会社堀場エステック)      |
| 9    | 公益社団法人 計測自動制御学会                      | 37 | 株式会社本田ビジネスシステムズ             |
| 10   | 一般社団法人 KEC関西電子工業振興センター               | 38 | 三菱電機株式会社                    |
| 11   | GMIジャパン株式会社                          | 39 | メイク株式会社                     |
| 12   | 島津システムソリューションズ株式会社                   | 40 | 山里産業株式会社                    |
| 13   | 新コスモス電機株式会社                          | 41 | 横河電機株式会社(横河ソリューションサービス株式会社) |
| 14   | 西華産業株式会社                             | 42 | 横河メータ&インスツルメンツ株式会社          |
| 15   | タケモトデンキ株式会社                          | 43 | リオン株式会社                     |
| 16   | 田中電気研究所                              | 44 | 理研計器株式会社                    |
| 17   | 株式会社チノー                              | 45 | 一般社団法人 日本電気計測器工業会           |
| 18   | 中央電子株式会社                             |    | ■IEC TC65 国内対策委員会           |
| 19   | 株式会社ディジ・テック                          |    | ■エネルギー・低炭素政策委員会             |
| 20   | 株式会社テクニカル                            |    | ■温度計測委員会                    |
| 21   | 東亜ディーケーケー株式会社                        |    | ■環境計測委員会                    |
| 22   | 東京計装株式会社                             |    | ■企画運営会議                     |
| 23   | 東光計器株式会社                             |    | ■校正事業推進委員会                  |
| 24   | 東レエンジニアリング株式会社                       |    | ■戦略的基盤技術検討委員会               |
| 25   | 二宮電線工業株式会社                           |    | ■製品安全・EMC委員会                |
| 26   | 日本電気計器検定所 関西支社                       |    | ■電子測定器委員会                   |
| 27   | 特定非営利活動法人 日本フィールドコムグループ              |    | ■PA・FA計測制御委員会               |
| 28   | 特定非営利活動法人 日本プロフィバス協会                 |    |                             |

# 刊 行 物 案 内

最新情報と購入申込はホームページの「刊行物」をご覧ください  
 ※表示価格は税込み（消費税率8%）です

## 工業会規格（JEMIS）

| 番 号                              | 規 格 名 称   | 一般価格   | 会員価格   |
|----------------------------------|---|--------|--------|
| ・JEMIS 001-1982,<br>006~009-1978 | パネル用計器の正面塗装色 など(002~004廃止、005欠番)                    | 1,080円 | 1,080円 |
| ・JEMIS 010-1977                  | 接触燃焼式可燃性ガス漏えい検知警報器                                  | 162円   | 162円   |
| ・JEMIS 011-1977                  | 半導体式可燃性ガス漏えい検知警報器                                   | 162円   | 162円   |
| ・JEMIS 012-1977                  | 電気化学式毒性ガス漏えい検知警報器                                   | 162円   | 162円   |
| ・JEMIS 013-1977                  | 半導体式毒性ガス漏えい検知警報器                                    | 162円   | 162円   |
| ・JEMIS 014-1977                  | 電気化学式酸素漏えい検知警報器                                     | 162円   | 162円   |
| ・JEMIS 016-1992                  | 可聴周波発振器試験方法   | 1,296円 | 1,080円 |
| ・JEMIS 017-2007                  | 電気標準室の環境条件  | 1,080円 | 864円   |
| ・JEMIS 018-1979                  | メータリレー  | 1,080円 | 1,080円 |
| ・JEMIS 019-1980                  | AC-DCトランスデューサ                                       | 864円   | 864円   |
| ・JEMIS 020-1981                  | クランプ電流計   | 540円   | 540円   |
| ・JEMIS 021-2012                  | 環境計測技術用語  | 3,240円 | 2,700円 |
| ・JEMIS 022-1983                  | 工業計器性能表示法通則   | 4,320円 | 3,240円 |
| ・JEMIS 024-1984                  | 工業計器一般仕様書記載項目                                       | 3,780円 | 2,700円 |
| ・JEMIS 026-1992                  | 工業計器性能用語  | 4,860円 | 3,780円 |
| ・JEMIS 027-1985                  | 工業プロセス用圧力・差圧伝送器の試験方法                                | 2,700円 | 2,160円 |
| ・JEMIS 028-1998                  | 渦流量計による流量測定方法                                       | 3,240円 | 2,160円 |
| ・JEMIS 030-1986                  | 原子力発電所プロセス計測機器の試験指針                                 | 2,700円 | 2,160円 |
| ・JEMIS 032-1987                  | 超音波流量計による流量測定方法                                     | 3,780円 | 3,240円 |
| ・JEMIS 033-1997                  | マイクロコンピュータ応用計測制御機器設置環境ガイドライン                        | 4,320円 | 3,240円 |
| ・JEMIS 034-2001                  | 熱電対及び測温抵抗体による温度測定方法                                 | 3,240円 | 2,160円 |
| ・JEMIS 034-3-2016                | 熱電対及び測温抵抗体による温度測定(校正)                               | 3,240円 | 2,160円 |
| ・JEMIS 035-1990                  | プロセス分析計性能表示法通則                                      | 3,240円 | 2,700円 |
| ・JEMIS 036-1994                  | 計測制御機器イミュニティ試験法                                     | 4,320円 | 3,240円 |
| ・JEMIS 036-1996                  | サージイミュニティ試験法( Amendment-1)                          | 1,620円 | 1,080円 |
| ・JEMIS 037-6-1997                | 工業プロセス計測制御機器伝導性無線周波妨害イミュニティ試験法                      | 3,240円 | 2,160円 |
| ・JEMIS 037-8-1998                | 工業プロセス計測制御機器商用周波数磁界イミュニティ試験法                        | 3,240円 | 2,160円 |
| ・JEMIS 037-11-1999               | 工業プロセス計測制御機器電圧ディップ、瞬時停電および電圧変動イミュニティ試験法             | 2,160円 | 1,620円 |
| ・JEMIS 038-2006                  | JEMIMAフィールドバス                                       | 3,240円 | 2,160円 |
| ・JEMIS 039-2002                  | 工業プロセス計測制御機器の電磁波妨害特性許容値および測定                        | 3,240円 | 2,160円 |
| ・JEMIS 040-3-2002                | 定格電流16A以下の工業プロセス計測制御機器に使用される低電圧電源システムの電圧変動とフリッカの許容値 | 2,160円 | 1,620円 |
| ・JEMIS 041-2002                  | 電磁式水道メーターの面間寸法                                      | 1,296円 | 1,080円 |
| ・JEMIS 042-2003                  | 電磁流量計の長期安定性   | 1,296円 | 1,080円 |
| ・JEMIS 043-2015                  | 接触式表面温度計の性能試験方法                                     | 1,296円 | 864円   |
| ・JEMIS 044-2015                  | 標準熱電対の作成方法  | 1,944円 | 1,620円 |

## 報告書類

| 報 告 書 名   | 一般価格   | 会員価格   |
|---|--------|--------|
| ・ハンドキャリー手続きマニュアル 第7版(平成28年4月)                               | 1,188円 | 648円   |
| ・製造業におけるエネルギー効率向上へのシステムアプローチ(平成28年3月)                       | 無料     | 無料     |
| ・電気計測器の中期見通し 2015～2019年度(平成27年12月)                          | 8,640円 | 3,240円 |
| ・環境計測器ガイドブック(第7版)(平成27年12月)                                 | 4,320円 | 3,456円 |
| ・エネルギー効率化のためのシステムアプローチ入門(平成26年7月)                           | 無料     | 無料     |
| ・明快!!安全保障輸出管理教本・入門から実務まで 改訂第2版(平成26年4月)                     | 2,160円 | 1,080円 |
| ・JIS C 1111:2006 交流トランスデューサ運用マニュアル(平成24年3月)                 | 3,240円 | 2,160円 |
| ・スマートグリッドベストプラクティス集 2011春(平成23年4月)                          | 無料     | 無料     |
| ・安全計装の理解のために「JIS C 0511 機能安全—プロセス産業分野の安全計装システム」の解説(平成21年7月) | 2,160円 | 1,080円 |
| ・安全保障貿易管理 該非判定ガイダンス 2009(平成21年3月)                           | 1,620円 | 864円   |
| ・申請者のための防爆申請ガイド＝本質安全防爆編 FISCO Model＝(平成17年3月発行)             | 4,320円 | 2,700円 |
| ・申請者のための防爆申請ガイド＝本質安全防爆編＝(平成11年3月)                           | 4,320円 | 2,700円 |
| ・申請者のための防爆申請ガイド＝耐圧防爆構造＝(平成10年3月)                            | 4,320円 | 2,700円 |

「生産動態統計調査」(経済産業省) (<http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/seidou/index.html>) をもとにJEMIMA作成  
 下記の数値は修正される場合があります。経済産業省生産動態統計HPの統計発表資料をご確認の上で、ご利用ください  
 (金額:百万円, 前年比:前年同期比増減率%)

| 生産              | 電気計測器合計 |       |        |      |       |      |            |        |      |         |       |         |        |      |        |       |         |        |
|-----------------|---------|-------|--------|------|-------|------|------------|--------|------|---------|-------|---------|--------|------|--------|-------|---------|--------|
|                 | 電気計器    |       |        |      | 指示計器  |      |            |        | 電力量計 |         |       |         | 電気測定器  |      |        |       |         |        |
|                 | 金額      | 前年比   | 金額     | 前年比  | 金額    | 前年比  | 数量         | 前年比    | 金額   | 前年比     | 金額    | 前年比     | 数量     | 前年比  | 金額     | 前年比   | 数量      | 前年比    |
| 2015(H27)暦年     | 395,672 | 15.0  | 83,195 | 58.1 | 4,616 | 0.7  | 9,232,027  | 78,579 | 63.6 | 159,493 | 10.4  | 530,437 | 12,709 | 1.0  | 12,709 | 10.4  | 530,437 | 12,709 |
| 2015(H27)年度     | 397,218 | 12.1  | 91,450 | 51.4 | 4,519 | -2.7 | 10,367,419 | 86,931 | 55.9 | 155,211 | 5.0   | 521,573 | 12,994 | 6.0  | 12,994 | 5.0   | 521,573 | 12,994 |
| 2015/04~06      | 93,939  | 27.5  | 19,751 | 76.5 | 1,044 | -3.8 | 2,176,627  | 18,707 | 85.1 | 42,190  | 31.3  | 110,320 | 2,741  | -8.4 | 2,741  | 31.3  | 110,320 | 2,741  |
| 2015/07~09      | 101,050 | 12.9  | 22,525 | 56.9 | 1,114 | 4.8  | 2,554,324  | 21,411 | 61.1 | 39,558  | 1.8   | 128,037 | 3,091  | -1.1 | 3,091  | 1.8   | 128,037 | 3,091  |
| 2015/10~12      | 95,628  | 11.3  | 23,627 | 34.4 | 1,269 | -3.1 | 2,645,336  | 22,458 | 37.4 | 34,657  | 2.8   | 154,225 | 3,662  | 25.1 | 3,662  | 2.8   | 154,225 | 3,662  |
| 2016/01~03      | 106,601 | 1.5   | 25,547 | 47.7 | 1,092 | -8.2 | 2,991,132  | 24,355 | 51.9 | 38,606  | -10.0 | 128,991 | 3,500  | 8.9  | 3,500  | -10.0 | 128,991 | 3,500  |
| 2016/02         | 34,114  | 10.4  | 8,408  | 37.9 | 358   | -5.0 | 978,996    | 8,050  | 40.7 | 11,890  | -1.7  | 40,239  | 1,056  | 4.6  | 1,056  | -1.7  | 40,239  | 1,056  |
| 2016/03         | 42,294  | -6.5  | 9,306  | 74.0 | 366   | -9.4 | 1,085,324  | 8,940  | 80.8 | 15,700  | -17.8 | 51,355  | 1,302  | 4.8  | 1,302  | -17.8 | 51,355  | 1,302  |
| 2016/04         | 26,056  | -16.2 | 8,029  | 18.6 | 334   | -7.5 | 1,107,695  | 7,695  | 20.1 | 8,679   | -37.5 | 45,778  | 988    | 10.9 | 988    | -37.5 | 45,778  | 988    |
| 2016/01~2016/04 | 132,657 | -2.6  | 33,576 | 39.5 | 1,426 | -8.0 | 4,098,827  | 32,150 | 42.8 | 47,285  | -16.7 | 174,769 | 4,488  | 9.3  | 4,488  | -16.7 | 174,769 | 4,488  |
| 2016/04~2016/04 | 26,056  | -16.2 | 8,029  | 18.6 | 334   | -7.5 | 1,107,695  | 7,695  | 20.1 | 8,679   | -37.5 | 45,778  | 988    | 10.9 | 988    | -37.5 | 45,778  | 988    |

| 生産              | 電気計測器  |        |       |        |         |     |        |       |           |       |       |        |               |        |       |       |        |       |
|-----------------|--------|--------|-------|--------|---------|-----|--------|-------|-----------|-------|-------|--------|---------------|--------|-------|-------|--------|-------|
|                 | 電気測定器  |        |       |        | 無線通信測定器 |     |        |       | 半導体・IC測定器 |       |       |        | その他の半導体・IC測定器 |        |       |       |        |       |
|                 | 数量     | 金額     | 前年比   | 金額     | 前年比     | 数量  | 金額     | 前年比   | 金額        | 前年比   | 数量    | 金額     | 前年比           | 金額     | 前年比   | 数量    | 金額     | 前年比   |
| 2015(H27)暦年     | 14,528 | 25,098 | 48.8  | 72,826 | 7.5     | 307 | 24,409 | 10.5  | 726       | 32.9  | 1,316 | 43,622 | 3.8           | 43,622 | 32.9  | 1,316 | 43,622 | 3.8   |
| 2015(H27)年度     | 13,664 | 24,634 | 11.3  | 69,736 | 5.4     | 296 | 22,470 | -1.5  | 746       | 24.9  | 1,274 | 42,804 | 7.6           | 42,804 | 24.9  | 1,274 | 42,804 | 7.6   |
| 2015/04~06      | 3,070  | 5,982  | 269.0 | 21,421 | 30.6    | 103 | 8,838  | 103.8 | 181       | 99.7  | 297   | 11,586 | 3.2           | 11,586 | 19.0  | 297   | 11,586 | 3.2   |
| 2015/07~09      | 4,529  | 5,989  | -21.5 | 18,550 | 9.5     | 85  | 6,380  | 35.5  | 172       | 1,187 | 32.3  | 372    | 10,983        | -3.1   | 32.3  | 372   | 10,983 | -3.1  |
| 2015/10~12      | 2,614  | 6,191  | 4.1   | 13,433 | 0.2     | 41  | 2,631  | -63.5 | 213       | 1,408 | 121.7 | 402    | 9,394         | 68.7   | 121.7 | 402   | 9,394  | 68.7  |
| 2016/01~03      | 3,451  | 6,472  | -6.7  | 16,332 | -15.9   | 67  | 4,621  | -29.6 | 180       | 870   | -27.7 | 203    | 10,841        | -7.0   | -27.7 | 203   | 10,841 | -7.0  |
| 2016/02         | 1,042  | 1,946  | -7.7  | 5,049  | 6.0     | 22  | 1,330  | -14.0 | 58        | 338   | 24.0  | 61     | 3,331         | 14.7   | 24.0  | 61    | 3,331  | 14.7  |
| 2016/03         | 1,635  | 2,696  | -8.6  | 6,617  | -27.2   | 27  | 1,796  | -43.9 | 59        | 237   | -55.5 | 90     | 4,584         | -14.4  | -43.9 | 59    | 237    | -55.5 |
| 2016/04         | 779    | 1,696  | -10.9 | 1,998  | -71.3   | 6   | 528    | -84.5 | 65        | 420   | 66.7  | 73     | 1,050         | -68.0  | 66.7  | 73    | 1,050  | -68.0 |
| 2016/01~2016/04 | 4,230  | 8,168  | -7.6  | 18,330 | -30.5   | 73  | 5,149  | -48.4 | 245       | 1,290 | -11.3 | 276    | 11,891        | -20.4  | -30.5 | 276   | 11,891 | -20.4 |
| 2016/04~2016/04 | 779    | 1,696  | -10.9 | 1,998  | -71.3   | 6   | 528    | -84.5 | 65        | 420   | 66.7  | 73     | 1,050         | -68.0  | 66.7  | 73    | 1,050  | -68.0 |

| 生産              | 工業用計測制御機器 |       |         |       |           |        |       |         |        |        |        |       |        |        |       |        |        |       |
|-----------------|-----------|-------|---------|-------|-----------|--------|-------|---------|--------|--------|--------|-------|--------|--------|-------|--------|--------|-------|
|                 | 電気測定器     |       |         |       | 温度計       |        |       |         | 圧力計    |        |        |       | 流量計    |        |       |        |        |       |
|                 | 金額        | 前年比   | 金額      | 前年比   | 数量        | 金額     | 前年比   | 金額      | 前年比    | 数量     | 金額     | 前年比   | 数量     | 金額     | 前年比   | 数量     | 金額     | 前年比   |
| 2015(H27)暦年     | 48,860    | 3.4   | 127,869 | 3.8   | 1,075,239 | 12,559 | 5.2   | 306,409 | 8.8    | 83,695 | 9,056  | -9.2  | 83,695 | 9,056  | -9.2  | 83,695 | 9,056  | -9.2  |
| 2015(H27)年度     | 47,847    | 1.3   | 126,195 | 3.4   | 1,074,701 | 12,493 | 3.6   | 304,306 | 10,929 | 2.6    | 90,969 | 9,199 | -1.6   | 90,969 | 9,199 | -1.6   | 90,969 | 9,199 |
| 2015/04~06      | 12,046    | 8.3   | 27,314  | 4.1   | 263,055   | 3,088  | 10.2  | 74,625  | 2,552  | 6.5    | 17,346 | 1,587 | -8.7   | 17,346 | 1,587 | -8.7   | 17,346 | 1,587 |
| 2015/07~09      | 11,928    | 7.0   | 32,642  | 7.8   | 266,138   | 3,220  | 7.2   | 75,550  | 2,811  | 10.0   | 23,356 | 2,189 | -7.5   | 23,356 | 2,189 | -7.5   | 23,356 | 2,189 |
| 2015/10~12      | 11,571    | -0.5  | 31,489  | 8.2   | 267,831   | 3,126  | 0.1   | 73,101  | 2,692  | 3.3    | 23,989 | 2,274 | 1.6    | 23,989 | 2,274 | 3.3    | 23,989 | 2,274 |
| 2016/01~03      | 12,302    | -7.6  | 34,750  | -4.6  | 277,677   | 3,059  | -2.1  | 81,030  | 2,874  | -7.2   | 26,278 | 3,149 | 4.8    | 26,278 | 3,149 | -7.2   | 26,278 | 3,149 |
| 2016/02         | 3,839     | -8.8  | 11,246  | 11.1  | 97,187    | 1,043  | 15.0  | 28,714  | 989    | 0.9    | 9,240  | 1,085 | 12.3   | 9,240  | 1,085 | 0.9    | 9,240  | 1,085 |
| 2016/03         | 5,085     | -12.7 | 13,818  | -17.6 | 93,445    | 1,123  | -15.1 | 29,845  | 1,123  | -10.9  | 9,591  | 1,265 | 3.7    | 9,591  | 1,265 | -10.9  | 9,591  | 1,265 |
| 2016/04         | 3,997     | -3.4  | 7,500   | -14.2 | 73,415    | 945    | -11.4 | 24,355  | 701    | -13.6  | 6,309  | 436   | -15.8  | 6,309  | 436   | -13.6  | 6,309  | 436   |
| 2016/01~2016/04 | 16,299    | -6.6  | 42,340  | -6.5  | 351,092   | 4,004  | -4.5  | 105,385 | 3,575  | -8.5   | 32,587 | 3,585 | 1.7    | 32,587 | 3,585 | -8.5   | 32,587 | 3,585 |
| 2016/04~2016/04 | 3,997     | -3.4  | 7,500   | -14.2 | 73,415    | 945    | -11.4 | 24,355  | 701    | -13.6  | 6,309  | 436   | -15.8  | 6,309  | 436   | -13.6  | 6,309  | 436   |

注)主要製品であつても2以下の事業所数又は企業数に係る製品は記載せず、秘匿の必要がある場合は「×」で示しています。

下記の数値は修正される場合があります。経済産業省生産動態統計HPの統計発表資料をご確認の上で、ご利用ください  
(金額:百万円, 前年比:前年同期比増減率%)

| 生産              | 電気計測器     |        |          |        |       |         |        |              |        |        |       |        |       |
|-----------------|-----------|--------|----------|--------|-------|---------|--------|--------------|--------|--------|-------|--------|-------|
|                 | 工業用計測制御機器 |        |          |        |       | その他の発信器 |        |              |        |        |       |        |       |
|                 | 発信器       |        | プロセス用分析計 |        |       | 受信計     |        | プロセス監視制御システム |        |        |       |        |       |
|                 | 数量        | 金額     | 前年比      | 金額     | 前年比   | 数量      | 金額     | 前年比          | 数量     | 前年比    |       |        |       |
| 2015(H27)暦年     | 144,780   | 13,847 | 5.4      | 10,373 | -6.1  | 676,817 | 14,934 | -2.9         | 22,326 | 13,412 | 1.0   | 21,922 | 1.4   |
| 2015(H27)年度     | 139,517   | 13,564 | 0.7      | 9,891  | -6.9  | 687,102 | 15,050 | 2.7          | 21,537 | 13,075 | -4.6  | 21,829 | 10.4  |
| 2015/04~06      | 30,868    | 2,966  | -7.6     | 2,120  | 4.3   | 162,955 | 3,538  | 5.0          | 4,697  | 2,709  | 9.9   | 4,720  | 5.1   |
| 2015/07~09      | 35,092    | 3,492  | 4.1      | 2,412  | -7.2  | 164,721 | 3,624  | -0.4         | 5,414  | 3,084  | -1.6  | 6,080  | 6.2   |
| 2015/10~12      | 36,707    | 3,619  | 15.2     | 2,402  | -6.1  | 173,651 | 3,900  | 3.2          | 5,636  | 3,042  | -13.7 | 5,402  | 40.6  |
| 2016/01~03      | 37,050    | 3,487  | -7.5     | 2,957  | -14.0 | 185,775 | 3,988  | 3.0          | 5,790  | 4,240  | -7.4  | 5,627  | -1.6  |
| 2016/02         | 11,386    | 1,093  | -11.5    | 842    | -16.5 | 66,172  | 1,401  | 10.7         | 2,128  | 1,411  | 4.8   | 1,580  | 56.6  |
| 2016/03         | 15,520    | 1,449  | -2.7     | 1,289  | -18.0 | 60,083  | 1,378  | -1.4         | 2,092  | 1,749  | -6.5  | 2,471  | -34.2 |
| 2016/04         | 9,869     | 1,006  | 12.4     | 424    | -37.6 | 62,558  | 1,245  | 6.9          | 1,345  | 707    | -17.1 | 828    | -38.3 |
| 2016/01~2016/04 | 46,919    | 4,493  | -3.7     | 3,381  | -17.9 | 246,333 | 5,233  | 3.9          | 7,135  | 4,947  | -8.9  | 6,455  | -8.6  |
| 2016/04~2016/04 | 9,869     | 1,006  | 12.4     | 424    | -37.6 | 62,558  | 1,245  | 6.9          | 1,345  | 707    | -17.1 | 828    | -38.3 |

| 生産              | 電気計測器        |        |              |       |       |        |       |         |       |       |        |        |       |
|-----------------|--------------|--------|--------------|-------|-------|--------|-------|---------|-------|-------|--------|--------|-------|
|                 | 工業用計測制御機器    |        |              |       |       | 放射線測定器 |       |         |       |       |        |        |       |
|                 | プロセス監視制御システム |        | その他のPA計測制御機器 |       |       | 放射線測定器 |       | 環境計測機器  |       |       |        |        |       |
|                 | 数量           | 金額     | 前年比          | 金額    | 前年比   | 数量     | 金額    | 前年比     | 数量    | 前年比   |        |        |       |
| 2015(H27)暦年     | 4,001        | 15,376 | 1.4          | 6,546 | 1.6   | 20,613 | 24.6  | 241,911 | 9,227 | 7.8   | 36,401 | 15,888 | 3.0   |
| 2015(H27)年度     | 4,061        | 15,161 | 8.6          | 6,668 | 14.7  | 20,165 | 13.5  | 277,607 | 8,969 | 8.7   | 39,093 | 15,393 | -1.9  |
| 2015/04~06      | 631          | 3,205  | 5.8          | 1,515 | 3.8   | 4,034  | 7.7   | 103,217 | 1,463 | 68.4  | 8,069  | 3,221  | -0.3  |
| 2015/07~09      | 875          | 4,433  | 3.4          | 1,647 | 14.5  | 5,730  | 47.0  | 89,434  | 2,697 | 15.1  | 8,599  | 3,628  | -1.8  |
| 2015/10~12      | 1,265        | 3,604  | 43.5         | 1,798 | 35.2  | 5,032  | 17.1  | 30,773  | 1,422 | 2.2   | 9,649  | 4,233  | 6.7   |
| 2016/01~03      | 1,290        | 3,919  | -5.2         | 1,708 | 7.7   | 5,369  | -7.7  | 54,183  | 3,387 | -7.1  | 12,776 | 4,311  | -10.3 |
| 2016/02         | 302          | 1,144  | 81.6         | 436   | 15.0  | 1,802  | 28.0  | 12,481  | 1,037 | 2.7   | 4,513  | 1,533  | -2.4  |
| 2016/03         | 423          | 1,755  | -40.5        | 716   | -11.1 | 2,040  | -31.2 | 38,303  | 1,800 | -19.7 | 4,316  | 1,670  | -5.1  |
| 2016/04         | 120          | 402    | -53.6        | 426   | -10.3 | 1,298  | -14.3 | 19,952  | 622   | 30.4  | 2,947  | 1,136  | 3.1   |
| 2016/01~2016/04 | 1,410        | 4,321  | -13.6        | 2,134 | 3.5   | 6,667  | -9.1  | 74,135  | 4,009 | -2.7  | 15,723 | 5,447  | -7.8  |
| 2016/04~2016/04 | 120          | 402    | -53.6        | 426   | -10.3 | 1,298  | -14.3 | 19,952  | 622   | 30.4  | 2,947  | 1,136  | 3.1   |

注) 主要製品であっても2以下の事業所数又は企業数に係る製品は記載せず、秘匿の必要がある場合は「x」で示しています。

出典:「生産動態統計調査」(経済産業省) (<http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/seidou/index.html>)

## 新入会員

平成28年4月度理事会におきまして、下記の会社の入会が承認されました。

### 〔正会員〕

社名：株式会社NFテクノコマース

代表者名：代表取締役社長 高橋 常夫 氏

本社所在地：〒223-0052 横浜市港北区綱島東6-3-14

電話番号：045-777-7604

ウェブサイトアドレス：<http://www.nf-techno.co.jp/>

主要取扱製品名：電気測定器（回路素子・材料測定器、測定用記録計・データ処理装置、その他の電気測定器）

社名：島田電機株式会社

代表者名：業務部 部長 田中 幸広 氏

本社所在地：〒146-0081 東京都大田区仲池上2-29-6

電話番号：03-3754-1711

ウェブサイトアドレス：<http://www.shimada-elec.co.jp/>

主要取扱製品名：PA用計測制御機器（その他）

### 〔賛助会員〕

社名：パナソニックヘルスケア株式会社

代表者名：診断薬事業部 技術管理部 部長 相原 秀生 氏

本社所在地：〒105-8433 東京都港区西新橋2-38-5

電話番号：03-5408-7290

ウェブサイトアドレス：<http://www.panasonic-healthcare.com/>

主要取扱製品名：血糖値測定器、小型血液測定器、オートインジェクター、保存、培養機器、電子カルテシステム、医療用モニター

平成28年5月度理事会におきまして、下記の会社の入会が承認されました。

### 〔賛助会員（団体）〕

団体名：特定非営利活動法人日本プロフィバス協会

代表者名：会長 元吉 伸一 氏

所在地：〒141-0022 東京都品川区東五反田3-1-6 ウエストワールドビル4F

電話番号：03-6450-3739

ウェブサイトアドレス：<http://www.profibus.jp/>

# 委員会開催録

開催場所に指定のない会議は計測会館にて開催しました

## 機能別委員会

### 《校正事業推進委員会》

開催日 4月21日

場所 (株)小野測器 本社

議事

1. 報告事項
  - (1) 分野別WG
  - (2) NITEからの報告
  - (3) 計量制度に関する課題検討会について
2. 委員会活動成果報告会について
3. 見学会について
4. JCSSコーナー見直しに関する会員向けアンケート調査について
5. 計測展2016 OSAKA
6. JCSS見学会について
7. NMIJ精密電気計測コンソーシアム参加報告
8. 日刊工業新聞掲載記事の紹介

### 《エネルギー・低炭素政策委員会》

※エネルギー計測・制御WG (WG1)

開催日 3月25日

議事

1. White Paper審議
2. コジェネについて
3. 海外プロモーション (タイ) について
4. その他情報共有

開催日 4月14日

議事

1. 海外セミナー (タイ) 審議
2. White Paper審議
3. その他情報共有

開催日 5月9日

議事

1. IEC Systems Committee Smart Energy TCフォーラム報告
2. その他情報共有

※規制・国際標準対応WG (WG2)

開催日 3月17日

議事

1. 平成28年度エネルギー対策特別会計における補助・委託等について

2. 気候変動長期戦略懇談会からの提言について
3. COP21について

開催日 4月22日

議事

1. エネルギー・環境イノベーション戦略策定WG聴講報告
2. ELCC参加会員企業へのFY15国内CO<sub>2</sub>排出量調査について

開催日 5月18日

議事

1. ELCC参加会員企業へのFY15国内CO<sub>2</sub>排出量調査について
2. JETRO・EU関連情報 環境・イノベーション
3. G7 エネルギー大臣会合共同声明

※スマートグリッドWG (WG3)

開催日 3月28日

議事

1. スマートグリッド国際標準化戦略グループのH27年度活動報告について
2. パリ会議に向けた日本担当分の宿題について

開催日 5月9日

議事

1. パリ会議に向けた日本担当分の宿題について

開催日 6月6日

議事

1. エネルギーリソースアグリゲータビジネス検討会 (ERAB) に関する報告
2. パリ会議に向けた日本担当分の宿題について
3. Systems Committee Smart Energy TCフォーラム報告

## 機種別委員会

### 《指示計器委員会》

開催日 3月10日

議事

1. 平成27年度成果報告会資料作成
2. JIS C 1111規格化素案作成
3. 来年度の予定表作成

開催日 4月14日

議事

1. 平成27年度成果報告会資料作成

2. JIS C 1111規格化素案作成

開催日 5月12日

議事

1. 報告事項
  - (1) IEC/TC85のCD、CDV、FDISのコメントについて
  - (2) IEC 60051-1 Ed.6.0：2016について
2. JIS C 1111規格化素案作成

《電子測定器委員会》

開催日 4月21日

議事

1. H26年度事業報告/H27年度事業計画について検討
2. インバータモータ測定規格対応WG経過報告
3. 委員会企業紹介-10-京西テクノス殿
4. 第1回委員長連絡会議報告
5. 8月見学会/2月マーケティングセミナー・研修アイデア出し
6. JIS C 1302改定準備WG報告

開催日 5月12日

議事

1. H26年度成果報告/H27年度事業計画についてまとめ
2. インバータモータ測定規格対応WG経過報告
3. 委員会企業紹介-11-岩通計測殿
4. 8月見学会/2月マーケティングセミナー/研修についてまとめ
5. 9月計販会殿実務者会議講演テーマアイデア出しと講師選出
6. JIS C 1302改定準備WG報告

開催日 6月9日

議事

1. インバータモータ測定規格対応WG経過報告
2. 委員会企業紹介-12-計販会殿
3. 見学会/セミナー/研修について進捗
4. 9月計販会殿実務者会議講演テーマと講師選出まとめ
5. JIS C 1302改定準備WG報告
6. 計測展出展誘致
7. 情報交換（次世代センサ協議会、JBP、JSCA、…）

開催日 7月14日

議事

1. インバータモータ測定規格対応WG経過報告
2. 委員会企業紹介-13-エヌエフ殿
3. 企業紹介 ノイズ研究所殿
4. 見学会/セミナー/研修について進捗
5. 9月計販会殿実務者会議講演テーマ確認
6. JIS C 1302改定準備WG報告
7. 計測展委員会セミナーについてテーマ検討
8. 情報交換（他団体との協業、団体情報）、その他
9. 経済産業省（五十嵐様）ご講演と情報交換「ロボット、AIによる産業革命」と情報通信技術、「ものづくり白書」「ロボットイニシアティブ協議会」の近況と今後

開催日 9月15日

場所：(株)小野測器 横浜テクニカルセンター 第2講演室

スケジュール：

1. 見学会（EMC試験室、PMモータ効率算定試験現場）
2. 委員会

議事

1. 8月見学会報告
2. 9月計販会殿実務責任者会 講演報告
3. JIS C 1302改定準備WG報告
4. 計測展委員会セミナーについて（タイトル、講演者、概要案）
5. 情報交換（他団体との協業、団体情報）、その他

開催日 10月20日

議事

1. インバータモータ測定規格対応WG経過報告
2. 委員会企業紹介-14-富士電機殿
3. 見学会/セミナー/研修について
4. JIS C 1302改定準備WG報告
5. 計測展委員会セミナーについて（タイトル、講演者、概要案）
6. 情報交換（他団体との協業、団体情報※）、その他
  - (1) 計測展アドバイザーボード報告
  - (2) 調査統計セミナー「当面の内外景気展望」募集案内
  - (3) 平成27年サポイン事業について紹介
  - (4) 技術戦略マップ作成委員会解説（産総研殿）
  - (5) 他団体動向

JEMA、JLMA、JBP、次世代センサ協議会、JSCA、JABM、IEC TC51 / TC68 / TC40、電気学会調査専門委員会

開催日 11月17日

議事

1. 平成27年度事業計画 上期報告、下半期、来年度事業検討
2. インバータモータ測定規格対応WG経過報告
3. 1月開催予定の有償セミナーについて
4. JIS C 1302改定準備WG報告
5. 計測展委員会セミナーについて内容確認
6. 委員長連絡会報告
7. 情報交換（他団体との協業、団体情報※）、その他
  - (1) JIS C 1910原案作成委員会報告
  - (2) 高度ポリテクセンター専門委員会報告
  - (3) IEC TC51、TC68、報告
  - (4) WG設置と役割り分担

開催日 12月8日

議事

1. 平成27年度事業計画 上期報告、下半期、来年度事業検討
2. インバータモータ測定規格対応WG経過報告
3. 委員会企業紹介-15-エー・アンド・デイ殿
4. 有償セミナーについて
5. JIS C 1302改定準備WG報告
6. 計測展委員会セミナー報告
7. 計測展報告
8. 情報交換（他団体との協業、団体情報）、その他
  - (1) JIS C 1910原案作成委員会報告
  - (2) 日本ボンド磁性材料協会報告
  - (3) WG設置と役割り分担

開催日 1月19日

議事

1. 平成27年度事業計画 上期報告、下半期、来年度事業検討
2. インバータモータ測定規格対応WG経過報告
3. 委員会企業紹介の今後について
4. JIS C 1302改定準備WG報告
5. マーケティングセミナーの開催準備
6. 情報交換（他団体との協業、団体情報）、その他
  - (1) JIS C 1910原案作成委員会報告
  - (2) 日本ボンド磁性材料協会報告

(3) WG設置と役割り分担

開催日 2月16日

研修名：製品企画マーケティング研修会

対象：電子測定器委員会 会員企業の社員

定員：最大17名（4名～5名のグループ分け）

内容：

1. 対象者 電気測定器に関わる企業で仕事をしている若手の方、理系、文系に関わらず事業企画、商品開発、販売企画の立案にかかわる方もしくは関わることを希望する方
2. 目指す効果 電気測定器などの事業において、様々な「企画を行う上での実務的な基礎知識と心構え」を習得できる
3. セミナ構成 ①電気測定器の歴史と市場の変化/②企業におけるマーケティングの役割/③商品企画の進め方/④販売プロモーションの進め方
 

《時間割》10：00：講義/12：00：昼食・休憩（人形町お食事処マップ進呈）/13：00：グループディスカッションと発表/15：00：休憩/15：20：ディスカッション結果を元にした補足講義と質疑応答/16：30：終了、後片付け後、懇談会（全員参加）

開催日 3月8日

議事

1. 平成28年度事業計画、予算について検討
2. インバータモータ測定規格対応WG経過報告
3. JIS C 1302改定準備WG報告
4. マーケティングセミナー報告
5. 有料セミナー（3.29開催予定）について
6. 情報交換（他団体との協業、団体情報）、その他
  - (1) JIS C 1910原案作成委員会報告
  - (2) 日本ボンド磁性材料協会報告
  - (3) WG設置と役割り分担
  - (4) 企業紹介依頼先選定

開催日 3月29日

講師：黒澤 良一氏

受講料：5,000円（資料代、消費税含む）但し、電子測定器委員会の参加企業 1,000円

定員：30名

内容：

講師の人生を通して、「パワーエレクトロニクスからの技術発想法」を紹介し、パワーエレ、インバータモータの技術紹介や開発裏話、今後の

課題について、①インバータ開発の歴史（温故知新）/②新幹線モーターインバータ開発（これぞパワエレの醍醐味）/③モーターインバータの今後の動向・課題（若人への期待を込めて）/インバータのスイッチングは速ければよいのか/これからの技術者に求めること

開催日 4月19日

議事

1. H27年度事業報告/H28年度事業計画についてまとめ
2. インバータモータ測定規格対応WG経過報告
3. 企業交流の方法について検討
4. 第1回委員長連絡会議報告
5. 成果報告会発表資料レビュー
6. 8月見学会について候補募集
7. 2月マーケティング 세미나/研修について
8. JIS C 1302原案作成委員会報告
9. その他、情報交換等
10. 解説「IIoT/M2M/ロボットに関する最近動向」（JEMIMA調査・国際部長 宮川氏）

開催日 5月17日

議事

1. H28年度事業計画について更新
2. インバータモータ測定規格対応WG経過報告
3. 委員会企業紹介-16-共和電業殿
4. 成果報告会発表資料レビュー
5. 8月見学会について
6. マーケティングセミナー/研修について
7. JIS C 1910原案作成委員会報告
8. その他、情報交換等
  - (1) 次世代センサ協議会報告（IoT・センサ技術懇談会参加について）
  - (2) 企業交流先について候補検討

《PA・FA計測制御委員会》

開催日 3月23日

議事

1. 4月度講演会確定・案内文検討
2. H27年度活動まとめ
3. 委員会活動成果報告会資料検討&活動まとめ確定
4. IEC/TC65国内委員会 諮問委員会2、3月報告
5. 主要WG今年度活動報告（セキュリティ、機能安全、工業用無線技術）
6. 今後の見学会実施に向けた検討

7. IEC/TC65日本国内委員会諮問委員会派遣委員交代の連絡

開催日 4月27日

議事

1. 今年度役員、各タスクチーム（TT）編成確認
2. 今年度活動計画・スケジュール確認
3. 平成27年度委員会成果報告書発表資料確定
4. 「平成27年度成果報告」目次検討
5. 8月PA・FAクォーターリーテーマ・執筆者確認
6. 10月見学会 海洋研究開発機構の見学予約
4. IEC/TC65国内委員会 諮問委員会12、1月報告
5. 4月委員長連絡会議報告
6. IEC/TC65諮問委員会4月報告

講演会：

1. 演題 「IEC/TC65構成、国際標準化動向、及び流量計評価規格状況」  
～標準化の現場、IoTやセキュリティー等の規格化動向～
2. 講演者 IEC/SC65B/WG6国内委員会 幹事 /エキスパート  
株式会社 東芝 飯島 拓也氏

開催日 5月25日

議事

1. 「平成27年度成果報告」目次Final&個別資料確認
2. 8月PA・FAクォーターリーテーマ・執筆者確定&原稿案確認
3. 7月度講演会検討
4. 10月度見学会実施要領検討・確定
5. IEC/TC65諮問委員会5月報告

《温度計測委員会》

開催日 3月9日

議事

1. 報告事項
  - (1) JEMIS 034（校正）について
  2. JEMIS 034（測温抵抗体）の見直し

開催日 4月13日

議事

1. 報告事項
  - (1) JEMIS 034-3（校正）の発行
  - (2) 平成27年度「新編温度計測100のFAQ」

アンケート調査結果

- (3) 次世代高温環境センサ研究会 参加報告
2. 平成28年度 温度計測委員会のスケジュールの確認
3. 見学会・関西地区会議について
4. JCSS見学会について
5. 平成27年度委員会活動成果報告会資料の確認
6. JEMIS 034 (測温抵抗体) の見直し

開催日 5月11日

議事

1. 報告事項
  - (1) JCSS見学会について
  - (2) 平成27年度委員会活動成果報告会について
2. 予算に対する今後のスケジュールについて
3. 見学会のスケジュールについて
4. JEMIS 034 (測温抵抗体) の見直し

### 《防爆計測委員会》

開催日 3月11日

場所 日本消防会館

議事

1. 報告事項
  - (1) IECEXシステム国内審議委員会
  - (2) IEC/TC31国内委員会
2. JEMIS 010~014について
3. 2015Exの調査WGからの報告

開催日 4月8日

議事

1. 報告事項
  - (1) IECEXシステム国内審議委員会
  - (2) 防爆機器型式試験検定簡略化検討委員会
  - (3) IEC/TC31国内委員会
2. 新規WGについて
3. JEMIS 010~014について

開催日 5月13日

議事

1. 報告事項
  - (1) IECEXシステム国内審議委員会
  - (2) 工場電気設備防爆指針改正委員会
2. Ex2015指針運用調査WGについて
3. 見学会について
4. 防爆機器型式試験検定簡略化検討委員会について

### 《環境計測委員会》

開催日 4月15日

議事

1. 正副委員長交代・環境計測委員会メンバー確認
2. 昨年度成果報告書の内容について
3. 年間スケジュールについて (施設見学会、開催地区での委員会開催など)
4. 英語版環境計測器ガイドブックの進め方

開催日 5月20日

議事

1. 英語版環境計測器ガイドブック作成について、日本語pdf版をWordに変換した。
2. 東南アジアの法規制の調査はベトナムの調査を実施する
3. 施設見学会について、新旧の日本のものづくりの現場を訪ねる。

開催日 6月17日

議事

1. JEMIMA国際委員会からのアンケート調査について
2. 英語版環境計測器ガイドブックの今後の進め方、年間スケジュール策定
3. JIS K0803改正に関する検討

### 《放射線計測委員会》

開催日 4月13日

議事

1. 正副委員長交代、28年度メンバーの確認、年間スケジュール策定
2. H28年度開始のJIS原案作成はZ4511及び、環境用受動形線量計を行う
3. 放射線関係法令、理工学部会の動向について
4. 過酷環境対応の放射線計測技術についての報告

開催日 5月13日

議事

1. IEC/TC45の紙旧規格をスキャンして電子化した。データが必要なときは、事務局にコピー依頼する運用とする
2. 放射線計測関連セミナーについて、テーマはJISの改正内容について (Z4312,Z4333等) JEMIMA会議室を使用
3. 放射線計測技術の最新動向：軍隊用Rad Watchについて

## 「平成27年度 委員会活動成果報告会」実施報告

平成27年度委員会活動成果報告会（企画運営会議主催）が平成28年6月8日（水）13:30～17:30に、コクヨ多目的ホールで開催されました。本報告会の目的は、JEMIMA各委員会が活動成果内容を会員企業および他委員会の委員に報告することで、JEMIMA活動の可視化・共有化を図ると共に委員会活動の更なる活性化に繋げ、結果として会員企業に利益をもたらして行くことです。

第11回目となる今回は会長、副会長を始めとして理事、会員代表者、連絡員、委員会関係者および来賓として経済産業省の方を含め多数の方々に出席頂き、108名の出席となりました。

また、報告会終了後に開催された懇親会にも、多数の出席を頂き盛況のうちに委員会活動成果報告会を終了いたしました。

### 1. 委員会活動成果報告会

小野木 聖二 会長からご挨拶があり、引き続き13の委員会より平成27年度の活動成果報告および課題、平成28年度活動計画などの報告があり、委員会相互の活動状況、課題、成果について情報の共有化が促進されました。



小野木 聖二 会長 ご挨拶



経済産業省 商務情報政策局 情報通信機器課  
課長補佐 五十嵐 淳志 様 ご挨拶



総合司会の企画運営会議 宮沢 敬治 議長



会場の様子

## 2. IEC/TC65国内委員会 表彰式

当工業会が事務局を務めるIEC/TC65国内委員会では、平成25年度から、国際標準化活動への積極的な貢献を顕彰・奨励するため、「国際標準化活動貢献賞」及び「国際標準化活動奨励賞」の二つの賞を授与しております。

今年度も、委員会活動成果報告会において表彰式を行いました。

小野木 聖二 会長より受賞者へ表彰状およびトロフィーが授与されました。



左 小野木 聖二 会長と右 IEC/TC65 国内委員会 松本 高治 委員長、  
中央 受賞者 右から、国際標準化活動奨励賞を受賞した高山 仁 様（アズビル株）  
国際標準化活動貢献賞を受賞した深田 彰男 様（東芝 IT コントロールシステム株）  
国際標準化活動貢献賞を受賞した山崎 洋 様（前所属 アズビル株）

## 3. 懇親会

### (1) 表彰

今回の報告会では、「最優秀賞」にPA・FA計測制御委員会、「優秀賞」に製品安全・EMC委員会と温度計測委員会が選ばれ、小野木 聖二 会長より各委員長へ表彰状および副賞が授与されました。



小野木 聖二 会長と最優秀賞を受賞したPA・FA計測制御委員会 小島 靖広 委員長の代理（岡庭 文彦 理事 元PA・FA計測制御委員会 委員長）

(2) 乾杯

吉原専務理事のご発声による乾杯で、懇親会が幕を開けました。



吉原専務理事 乾杯のご発声

なお、当日出席された皆様からのアンケートは企画運営会議で集計・分析し本年度の委員会活動に反映させるとともに、次回の委員会活動成果報告会運営の改善にも繋げていきたいと考えております。

## 第65回 戦略的基盤技術検討委員会（委員会・技術講演会及び交流会）開催報告

平成27年度から継続実施中の東京会場（本部計測会館）～関西会場（委員会社様会場又は電子会館会議室）を結ぶインターネット技術講演会を盛り込み、以下の様に第65回委員会を開催した。

- ・日 時 平成28年4月22日（金）
- ・場 所 <東京会場>（一社）日本電気計測器工業会 計測会館 502会議室（インターネット講演会のみ開催）  
<京都会場>（株）堀場エステック 本社 4階 特別会議室（委員会・講演会及び交流会開催）
- ・参 加 <東京会場> 寺尾 吉哉 様（国立研究開発法人 産業技術総合研究所 計量標準総合センター 工学計測標準研究部門 統括研究主幹）他4名  
<京都会場> 17名

### ・開催内容

#### (1) 委員会議案

- 1) 議決事項：平成27年度委員会成果報告会提出資料の承認議決
- 2) 報告事項：平成28年度委員会活動計画概要の報告実施

#### (2) 技術講演会

冒頭、熊本地震で亡くなられた皆様に対して、清水委員長から哀悼の意を表明しご冥福をお祈りした。また、被災された関係者の皆様に対してお見舞い並びに一刻も早い復旧をお祈りした。

- 1) テーマ：「我が国の気体流量国家標準と最新の動向について」
- 2) 講 師：国立研究開発法人 産業技術総合研究所 計量標準総合センター

工学計測標準研究部門 気体流量標準研究グループ 主任研究員（工学博士） 森岡 敏博 様

#### 3) 概 要

産業技術総合研究所（AIST）及び計量標準総合センター（NMIJ）の概要に続き、我が国の気体流量国家標準である特定標準器や実用標準器、トレーサビリティ体系、JCSS校正事業、JIS規格等についてご紹介頂いた。また、気体流量計測における最近の動向として、燃料電池業界における水素ガス計量管理や半導体関連業界におけるMFC（マスフローコントローラー）のコンバージョンファクターの決定方法に関する研究開発や標準化・規格化についてご紹介頂いた。



講演風景（東京会場・京都会場）



寺尾様を囲んで（東京） 講師：森岡様を囲んで（京都）

#### (3) 交流会

その後、講師の先生を囲んで「(株) あたか飯店（京都）」に於いて交流会を開催し親睦を図った。

### ※戦略的基盤技術検討委員会

- 設立 : 平成15年設置（関西支部所管）
- ミッション : 将来の工業会の基盤技術となりうる先端技術分野の研究開発テーマの調査検討、会員各社の発展に寄与する新技術の探索及び会員各社の満足度向上と技術交流
- 平成28年度 正副委員長 : 委員長 : 清水 哲夫 氏（(株) 堀場エステック）  
副委員長：北川 伸一 氏（島津システムソリューションズ（株））  
副委員長：福島 光明 氏（(株) エネゲート）

以 上

## NECA広報委員会との交流会実施報告

主催：広報委員会

3月25日（金）、広報委員会は、計測会館で一般社団法人日本電気制御機器工業会（NECA）広報委員会との交流会を実施しました。広報委員会が他工業会の委員会と交流会を行うのは今回が初めてです。

交流会は会員に読んでいただく、役立つ会報づくりのために、お互いの編集工程や過去の改善事例などに関する情報を交換し、そこで得た気づきを今後の改善活動につなげていくことを目的に行われました。お互いの会報の内容や編集工程、読者の反応などについて紹介したほか、工業会での広報委員会の位置づけやWebの活用など会報制作以外の活動についての情報交換も行われ、これまでの活動を見直す良い機会となりました。

NECAの会報には、印象的な表紙デザインや見やすい見出しなど「読ませる工夫」が多く盛り込まれており、また読者アンケートを実施して改善につなげているなど、参考になる取り組みがありました。広報委員会は、ここで得た知見をもとに、会報はもとより、広報活動全体の改善活動に引き続き取り組んでいきます。

開催日：平成28年3月25日（金）16:00～17:00

場 所：計測会館

参加者：NECA 11名、 JEMIMA 9名

### 内容

- お互いの委員会活動の概要を紹介  
委員会の体制、工業会における役割、メンバーの構成など
- 会報について紹介  
発行目的、制作スケジュール、会報制作における広報委員会の役割、改善への取り組み事例など
- 会報以外の活動について紹介  
ブランディングの内容、Webのアクセス分析など



NECA 会報「Seiden」の最新号



交流会の様子。右側がNECA 広報委員会の皆さん

## 平成28年IEC活動推進会議議長賞の受賞

平成28年IEC活動推進会議議長賞を下記の1名の方が受賞されました。  
当工業会にとりましても大変名誉なことであり、次のとおりご報告いたします。

IEC活動推進会議議長賞：野里 一七 氏  
一般社団法人日本電気計測器工業会  
技術・標準部

### <主な功績>

IEC/TC65（工業用プロセス計測制御）の主要規格の策定・JIS化・啓蒙に委員として長年貢献するとともに、TC65国内委員会の活性化に主体的に取り組み、2002年3月から運営事務局として、活動の活性化を図り、日本のプレゼンスの飛躍に多大な貢献をした。

なお、表彰式は、平成28年6月1日（水）第26回IEC活動推進会議総会（ホテルJALシティ田町 東京 地下1階鳳凰）にて行われました。



金屏風の前の野里氏



平成28年6月1日（水）第26回IEC活動推進会議総会  
ホテルJALシティ田町 東京 地下1階鳳凰に於ける表彰式

---

## ◆今号の表紙

神奈川県我真鶴岬です。

半島はマツ、クスノキ、スダジイなどの巨木が生い茂り、流れ出る水に栄養があり、プランクトンが豊富に育つので、たくさんの魚が寄りつき「魚つき保安林」と呼ばれています。

そのような理由で漁港も賑やかで、釣り人も大勢やってきます。

巨木は本当に高く、40メートルにもなる木があります。そのせいで雷の被害もあり、木々のための避雷針があります。

この写真は岬の上から見下ろしたのですが、本当は岩に舞う白いカモメと一緒に撮りたかったのです。一回目撃したのですがチャンスを逃し、何回も行ったのですが、飛んできませんでした。この場所に夜中から待機して朝陽に輝くであろう姿を想定して待ち受けても、ほかの岩で飛ぶのです。

そうこうしているうちに、肝心の手前のアクセントになるセクシーな木が倒れてしまいました。残念です。風景は一期一会と言いますが、本当に実感です。

撮影地：神奈川県足柄下郡真鶴町真鶴

使用機材：Canon EOS5D MarkII

レンズ：EF24-70mm F2.8L IS USM

テレコンバータ1.4使用

絞り：f16

シャッター速度：AE

露出補正：なし

ISO感度：1600

フィルタ：CPL

写真：佐藤 健治

---

## ●JEMIMA会報

2016/Vol.53No.3 2016年7月20日発行

発行 一般社団法人日本電気計測器工業会 (JEMIMA)

本部 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町2-15-12 (計測会館)

電話03-3662-8184 (広報・展示部) FAX03-3662-8180

関西支部 〒530-0047 大阪市北区西天満6-8-7 (電子会館6階)

電話06-6316-1741 FAX06-6316-1751

編集事務局 広報・展示部

印刷 日本印刷株式会社

## ●JEMIMA会報への広告掲載申込およびJEMIMA会報送付先の変更・停止は、

info@jemima.or.jpまでご連絡をお願いします。

## ●次回発行予定 2016年10月20日

## ●禁無断転載

## JEMIMA 新規会員募集

# JEMIMAに入りませんか!

一般社団法人日本電気計測器工業会(JEMIMA)は計測・制御分野において幅広く活動しています。貴社の事業拡大に是非ご活用ください。

## ● 会員の特典 ● ● ●

### 制度・規格への提言

団体としてまとまることで、規制制度や国際規格などについて意見を述べるすることができます。

- 経済産業省などを通じて国内外の規制・制度に意見を述べています
- EUなどに対して、関連団体と協調して環境規制に関する意見を提出しています
- IECの国際規格、JIS規格などの原案を作っています

### コンタクト先の開拓

個社ではコンタクトが難しい政府機関、他分野の企業、学会などとコンタクトできます。

- 展示会、委員会、懇談会などの場を提供しています
- 経済産業省などの政府機関、IEC等の国際標準化団体、インフラメンテナンスや省エネルギーの関連団体、計測自動制御学会などと密接な関係を持っています

### 詳しい情報の入手

同業他社との共同での情報収集、意見交換により、正確な情報を素早く入手できます。

- 輸出管理に関してノウハウを持ち、最新情報を盛り込んだ書籍も出版しています
- 会員向けのメールマガジンやWebページ、工業会の独自統計情報を提供しています

### 会員の資格

- 正会員 電気計測器の製造を営んでいる法人企業
- 賛助会員 電気計測器の販売・輸出入、リース・レンタル、関連製品の製造、メンテナンスなどを営む企業及び当会に関連する団体

### お問い合わせ

当工業会 総務・企画部  
TEL. 03-3662-8181  
または当工業会ウェブサイトのお問い合わせ欄から

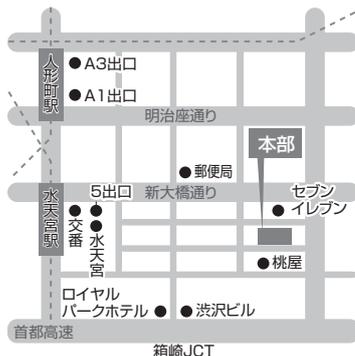
## JEMIMA 所在地

### ■ 本部 (計測会館)

〒103-0014  
東京都中央区日本橋蛸殻町 2-15-12  
TEL 03-3662-8181 FAX 03-3662-8180

#### 交通案内

- 東京メトロ半蔵門線 水天宮前駅 (5 出口) 徒歩 3 分
- 東京メトロ日比谷線 人形町駅 (A1 出口) 徒歩 7 分
- 都営浅草線 人形町駅 (A3 出口) 徒歩 10 分



### ■ 関西支部

〒530-0047  
大阪市北区西天満 6-8-7 (電子会館 6 階)  
TEL 06-6316-1741 FAX 06-6316-1751

#### 交通案内

- JR 大阪駅 御堂筋南改札徒歩 15 分
- 地下鉄 西梅田駅 南改札口徒歩 10 分
- 地下鉄 東梅田駅 北東改札口 (7 出口) 徒歩 9 分
- 京阪 淀屋橋駅 北改札口 (1 出口) 徒歩 15 分





- 電気**
- ◎電圧標準器
  - ◎標準電圧電流発生器 (キャリブレータ)
  - ◎デジタルマルチメータ
  - ◎指示電気計器 (電圧、電流、電力、位相、力率、周波数他)
  - ◎標準分流器
  - ◎標準抵抗器
  - ◎ブリッジ類
  - ◎デジタル高電圧計
  - ◎耐電圧試験器
  - ◎高電圧分圧器

- ◎ひずみ測定器類
- ◎リレー試験器
- ◎絶縁抵抗計
- ◎接地抵抗計
- ◎クランプメータ
- ◎オシロスコープ
- ◎デジタルパワーメータ
- ◎標準電力計
- ◎標準コンデンサ
- ◎標準インダクタ
- ◎交流抵抗器
- ◎LCRメータ
- ◎誘導分圧器

- ◎周波数カウンタ
- ◎周波数発生装置
- ◎ストップウォッチ
- ◎位相計
- ◎力率計
- ◎計器用変圧器
- ◎変流器
- ◎電流センサ



- 磁気**
- ◎標準磁石
  - ◎磁束計
  - ◎磁界発生器
  - ◎ガウスメータ

安心の品質保証  
校正試験は信頼と技術の  
**JEMIC**へ

**温湿度**

- ◎デジタル温湿度計
- ◎抵抗温度計
- ◎放射温度計
- ◎サーモグラフィ
- ◎熱電対
- ◎光高温計
- ◎温度計校正装置
- ◎その他温度計
- ◎露点計



**光**

- ◎標準電球
- ◎照度計
- ◎標準蛍光灯ランプ
- ◎フィルタ
- ◎標準LED、LED素子



**長さ**

- ◎ノギス
- ◎マイクロメータ
- ◎ブロックゲージ
- ◎ダイヤルゲージ
- ◎ハイトゲージ
- ◎デプスゲージ
- ◎デプスマイクロメータ
- ◎シクネスゲージ



**圧力**

- ◎デジタル圧力計
- ◎機械式圧力計



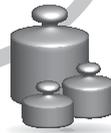
**トルク**

- ◎トルクレンチ
- ◎トルクドライバ
- ◎トルクメータ



**質量**

- ◎天秤
- ◎はかり
- ◎分銅
- ◎おもり



JEMIC  
イメージキャラクター  
「ミクちゃん」

企業ニーズに応えるネットワークと、  
永年にわたる研究を基盤とする実績。  
校正試験のことなら、  
**JEMIC**にご相談ください。

**JCSS 校正**

取扱品目・範囲を拡大中

JEMIC

検索

- ▶ **JEMIC** では、電気や温度などの測定技術からISO/IEC 17025、ISO 10012や不確かさまで、多岐にわたるセミナーを開催しています。是非、初任者研修など、社員教育にご利用ください。
- ▶ お客様のご希望の場所に向いて行う出張セミナーも承っております。

標準器・計測器の校正試験については下記へお問い合わせください

**日本電気計器検定所** <http://www.jemic.go.jp/>

■校正試験実施・窓口

|      |                           |                   |                   |
|------|---------------------------|-------------------|-------------------|
| 本社   | 〒108-0023 東京都港区芝浦4-15-7   | Tel.(03)3451-6760 | Fax.(03)3451-6910 |
| 中部支社 | 〒487-0014 愛知県春日井市気噴町3-5-7 | Tel.(0568)53-6336 | Fax.(0568)53-6337 |
| 関西支社 | 〒531-0077 大阪市北区大淀北1-6-110 | Tel.(06)6451-2356 | Fax.(06)6451-2360 |
| 九州支社 | 〒815-0032 福岡市南区塩原2-1-40   | Tel.(092)541-3033 | Fax.(092)541-3036 |

■JEMICのネットワーク・代表電話

|       |               |      |               |           |               |           |               |      |               |
|-------|---------------|------|---------------|-----------|---------------|-----------|---------------|------|---------------|
| 本社    | (03)3451-1181 | 中部支社 | (0568)53-6331 | 関西支社京都事業所 | (075)681-1701 | 四国支社      | (0877)33-4040 | 沖縄支社 | (098)934-1491 |
| 北海道支社 | (011)668-2437 | 北陸支社 | (076)248-1257 | 関西支社尼崎事業所 | (06)6491-5031 | 九州支社      | (092)541-3031 |      |               |
| 東北支社  | (022)786-5031 | 関西支社 | (06)6451-2355 | 中国支社      | (082)503-1251 | 九州支社熊本事業所 | (096)325-2131 |      |               |